



部門別事業報告

Ⅳ 人間ドック

一日人間ドックとオプション検査
専門ドック

Ⅴ 生活機能評価

一日人間ドックとオプション検査

2004（平成16）年に人間ドックセンターを開設して以来、より快適な環境のもとで充実した内容の人間ドックを提供するため、検査内容の見直しを図り、検査項目を追加してきた。2008（平成20）年4月より健診項目としては日本で初めての取組みとされる唾液による歯周病検査を新たに追加した。また同年、健診の質の良さ等が高く評価され、日本人間ドック学会より健診施設機能評価認定を受けた。

■実施状況

平成22年度の検査人数は前年度より974人増の19,641人であった（表1）。受診構成は、男性11,385人（58.0%）、女性8,256人（42.0%）となっており、ここ10年以上は男女比6：4の割合が続いている。

年代別では50代の受診が最も多く、次いで60歳代、40歳代となっている。有所見率は98.5%と例年同様高い数字であった。このうち、70%近くの人たちが何らかの検査で要医療という判定結果が出た。

必須項目の有所見率は、腹部超音波63.1%が最も高く、LDL-コレステロール54.8%、ヘモグロビンA1c39.9%、体脂肪率39.8%、腹囲38.2%となっており、地域保健部門や産業保健部門の健診同様、LDL-コレステロールは半数以上の人が所見を持っていた（表2）。

オプション検査人数は、脳MRI・MRA検査1,109人（前年度比130.8%）、心臓血管系超音波検査626人（前年度比121.1%）、胸部マルチヘリカルCT検査527人（前年度比117.4%）、ホルター心電図検査111人（前年度比102.8%）、膀胱超音波検査776人（前年度比98.9%）、腹部CT検査395人（前年度比96.1%）、歯周病検査は228人（前年度比88.0%）であった（表2,3）。

婦人科検査については、レディースドックとして一日人間ドックとの同時受診が可能となっている。表2はレディースドック同時受診の成績を含んだものである。平成22年度の一日人間ドックとレディースドック同時受診人数は654人、前年度より30人減であった。

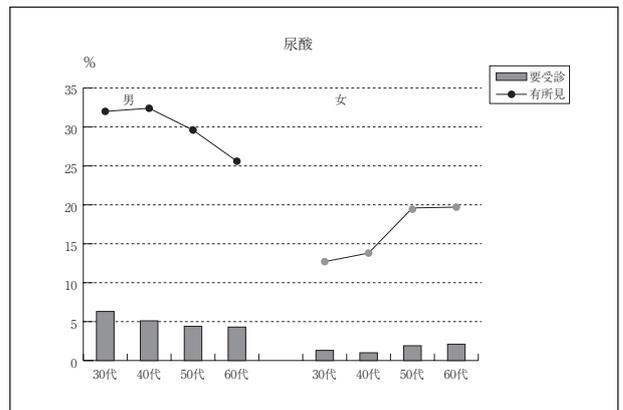
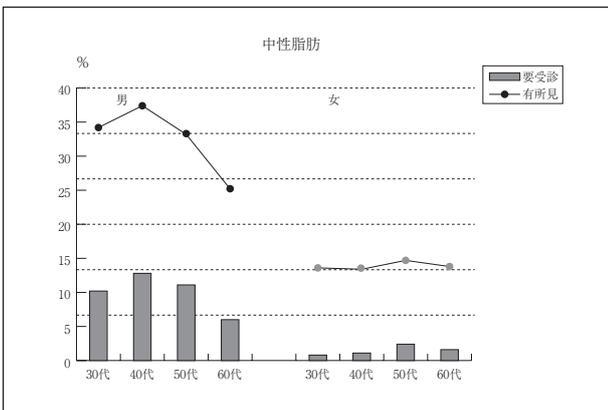
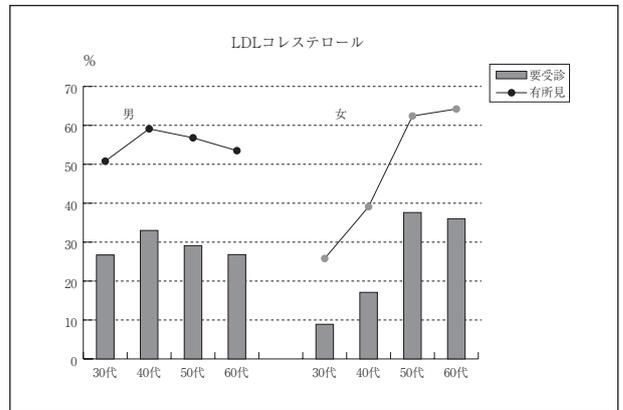
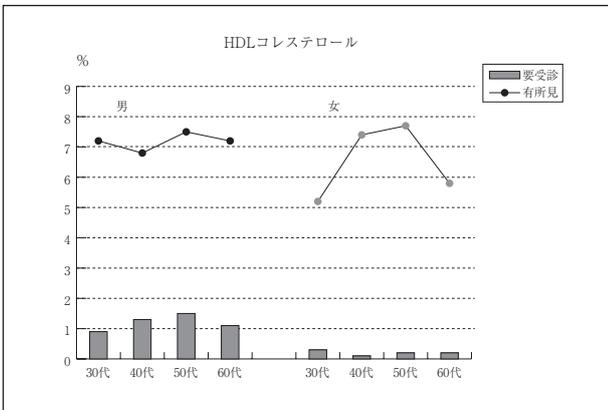
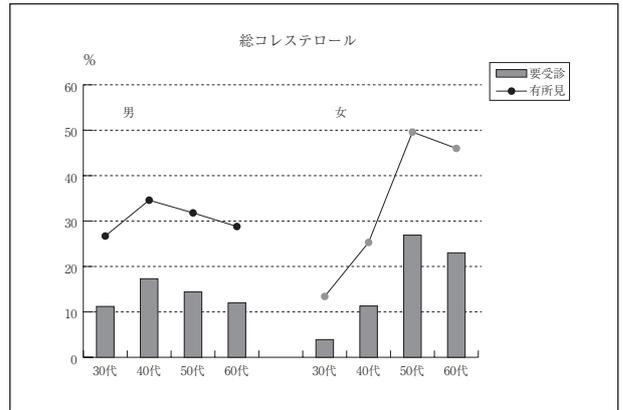
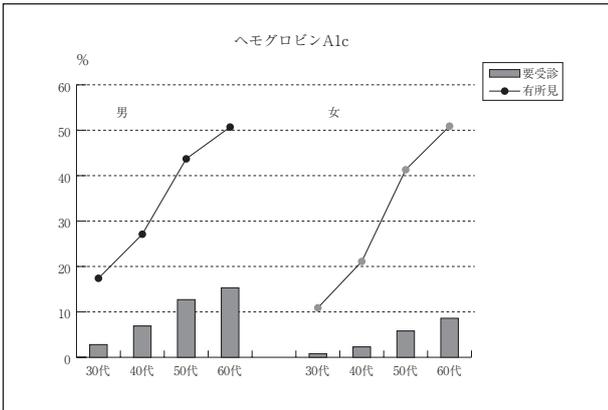
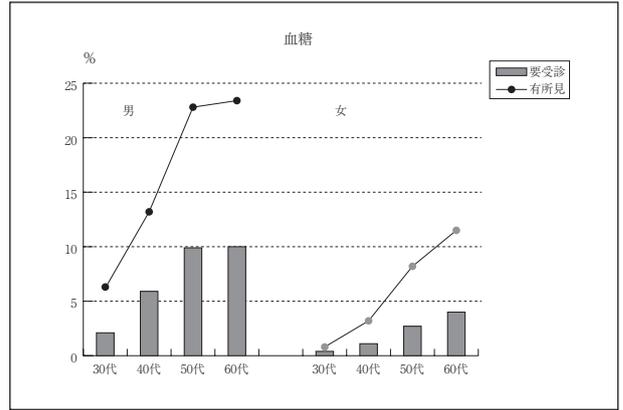
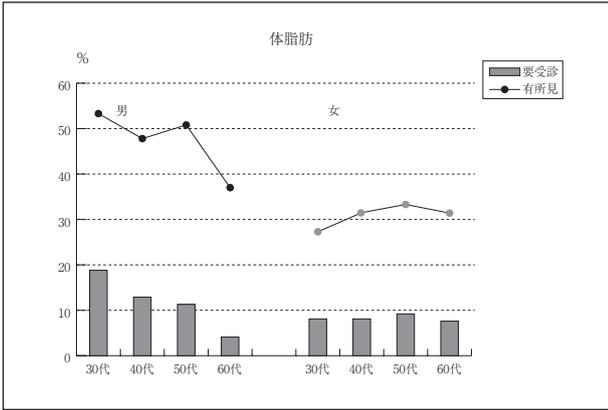
■一日人間ドック検査項目

血液型	ABO・Rh（初回、2回目）
体温	
身体計測	身長・体重・肥満度・BMI・体脂肪率・腹囲
感覚器	視力・聴力・眼圧
免疫学的検査	RF・CRP
代謝	尿糖・血糖（空腹時）・ヘモグロビンA1c・総コレステロール・HDL-コレステロール・LDL-コレステロール・中性脂肪・尿酸・カルシウム・リン
骨強度	音響的骨評価（踵骨超音波法）
末梢血等	赤血球系・白血球系・血小板数
泌尿器	クレアチニン・尿検査・前立腺特異抗原（50歳以上男性）
肝・胆・膵	AST（GOT）・ALT（GPT）・γ-GTP・乳酸脱水素酵素・アルカリ性フォスファターゼ・総ビリルビン・（直接・間接）ビリルビン・総蛋白・アルブミン・A/G・肝炎ウイルス（初回のみ）・AFP・膵アミラーゼ
腹部超音波	肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓
消化管	胃部X線・便潜血
循環器	血圧・心電図（安静時）・眼底
呼吸器	胸部X線・肺機能・喀痰細胞診（危険因子の高い人）
内科診察	
甲状腺	視触診
乳房	視触診・乳房X線（40歳以上の女性）

■オプション検査

脳MRI・MRA、高次脳機能検査
膀胱超音波検査
ホルター心電図検査
心臓・血管系超音波検査
胸部マルチヘリカルCT検査
腹部CT検査（内蔵脂肪測定）
婦人科検査（内診・子宮頸部細胞診）
歯周病検査

図1 性別・年代別・項目別有所見率の比較



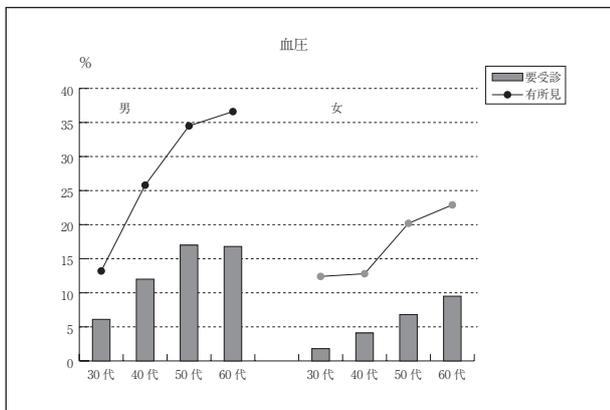
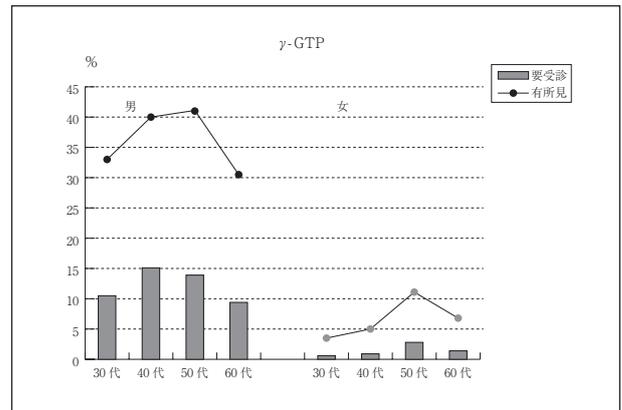
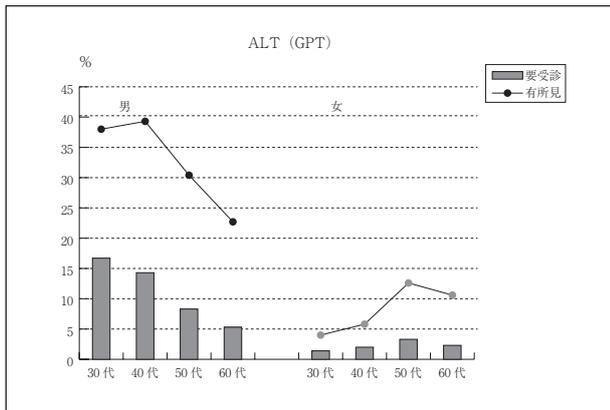
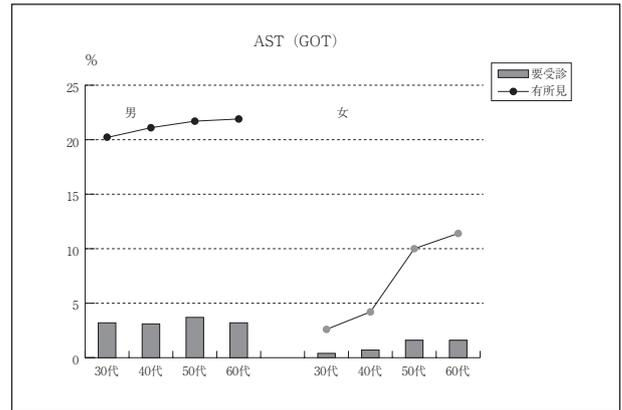
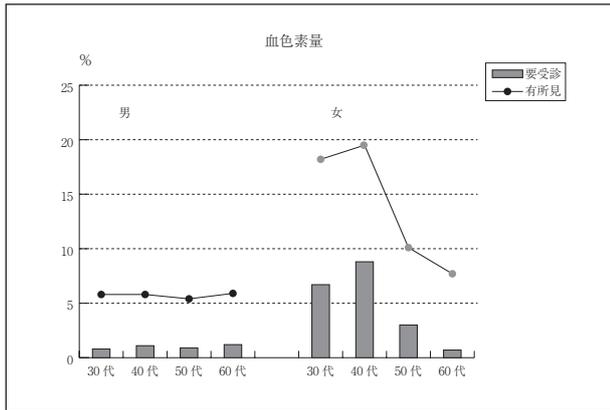


表1 年代別総合成績

() 内は%

区分	計		男				女			
	検査人数	有所見者数	検査人数	有所見者数	有所見内訳		検査人数	有所見者数	有所見内訳	
					要指導	要医療			要指導	要医療
計	19,641	19,340 (98.5)	11,385	11,258 (98.9)	3,315 (29.1)	7,943 (69.8)	8,256	8,082 (97.9)	2,509 (30.4)	5,573 (67.5)
29歳以下	113	104 (92.0)	53	50 (94.3)	22 (41.5)	28 (52.8)	60	54 (90.0)	27 (45.0)	27 (45.0)
30～39歳	1,714	1,616 (94.3)	996	950 (95.4)	437 (43.9)	513 (51.5)	718	666 (92.8)	339 (47.2)	327 (45.5)
40～49歳	4,237	4,106 (96.9)	2,584	2,529 (97.9)	907 (35.1)	1,622 (62.8)	1,653	1,577 (95.4)	661 (40.0)	916 (55.4)
50～59歳	5,768	5,722 (99.2)	3,381	3,367 (99.6)	1,000 (29.6)	2,367 (70.0)	2,387	2,355 (98.7)	749 (31.4)	1,606 (67.3)
60～69歳	5,406	5,390 (99.7)	2,964	2,956 (99.7)	723 (24.4)	2,233 (75.3)	2,442	2,434 (99.7)	591 (24.2)	1,843 (75.5)
70歳以上	2,403	2,402 (100.0)	1,407	1,406 (99.9)	226 (16.1)	1,180 (83.9)	996	996 (100.0)	142 (14.3)	854 (85.7)

表2 項目別成績

区分	体脂肪率	腹囲	腹部CT(内臓脂肪)	視力	聴力	眼圧	R F	C R P	尿糖	血糖	ヘモグロビン A1c	総コレステロール	HDLコレステロール
計	検査人数 19,591 有所見者数 7,804 (39.8)	19,639 7,509 (38.2)	395 223 (56.5)	19,638	14,536 4,378 (30.1)	19,619 913 (4.7)	19,641 1,378 (7.0)	19,641 1,138 (5.8)	19,635 256 (1.3)	19,641 2,838 (14.4)	19,641 7,840 (39.9)	19,641 6,692 (34.1)	19,641 1,365 (6.9)
男	検査人数 11,353 有所見者数 5,159 (45.4)	11,385 5,988 (52.6)	250 170 (68.0)	11,385	11,317 3,293	11,377 631 (5.5)	11,385 736 (6.5)	11,385 787 (6.9)	11,379 232 (2.0)	11,385 2,163 (19.0)	11,385 4,623 (40.6)	11,385 3,463 (30.4)	11,385 820 (7.2)
	要指導 4,047 (35.6)	5,988 (52.6)	170 (68.0)		2,265 (20.0)	404 (3.6)	346 (3.0)	355 (3.1)	83 (0.7)	1,244 (10.9)	3,324 (29.2)	1,934 (17.0)	669 (5.9)
	要医療 1,112 (9.8)				1,028 (9.1)	227 (2.0)	390 (3.4)	432 (3.8)	149 (1.3)	919 (8.1)	1,299 (11.4)	1,529 (13.4)	151 (1.3)
	判定保留												
女	検査人数 8,238 有所見者数 2,645 (32.1)	8,254 1,521 (18.4)	145 53 (36.6)	8,253	3,219 1,085 (33.7)	8,242 282 (3.4)	8,256 642 (7.8)	8,256 351 (4.3)	8,256 24 (0.3)	8,256 675 (8.2)	8,256 3,217 (39.0)	8,256 3,229 (39.1)	8,256 545 (6.6)
	要指導 1,961 (23.8)	1,521 (18.4)	53 (36.6)		341 (10.6)	195 (2.4)	294 (3.6)	179 (2.2)	7 (0.1)	444 (5.4)	2,718 (32.9)	1,616 (19.6)	532 (6.4)
	要医療 684 (8.3)				744 (23.1)	87 (1.1)	348 (4.2)	172 (2.1)	17 (0.2)	231 (2.8)	499 (6.0)	1,613 (19.5)	13 (0.2)
	判定保留												

区分	クレアチニン	前立腺	特異抗原	尿蛋白	尿潜血	尿比重	尿沈渣	膀胱超音波	A(S O T)	A(G L P T)	γ-GTP	L D H	A L P	総ビリルビン
計	検査人数 19,641 有所見者数 736 (3.7)	8,047 594 (7.4)	19,635 1,109 (5.6)	19,635 3,320 (16.9)	19,634 550 (2.8)	19,633 4,673 (23.8)	776 13 (1.7)	19,641 3,241 (16.5)	19,641 4,123 (21.0)	19,641 4,545 (23.1)	19,641 4,153 (21.1)	19,641 1,023 (5.2)	19,641 2,945 (15.0)	
男	検査人数 11,385 有所見者数 412 (3.6)	8,047 594 (7.4)	11,379 806 (7.1)	11,379 1,197 (10.5)	11,379 435 (3.8)	11,379 1,581 (13.9)	587 9 (1.5)	11,385 2,494 (21.9)	11,385 3,343 (29.4)	11,385 3,946 (34.7)	11,385 2,009 (17.6)	11,385 437 (3.8)	11,385 2,073 (18.2)	
	要指導 363 (3.2)	291 (3.6)	421 (3.7)	616 (5.4)	435 (3.8)	1,312 (11.5)	5 (0.9)	2,135 (18.8)	2,316 (20.3)	2,623 (23.0)	1,406 (12.3)	397 (3.5)	1,331 (11.7)	
	要医療 49 (0.4)	303 (3.8)	385 (3.4)	581 (5.1)	269 (2.4)	4 (0.7)	359 (3.2)	1,027 (9.0)	1,323 (11.6)	603 (5.3)	40 (0.4)	742 (6.5)		
	判定保留													
女	検査人数 8,256 有所見者数 324 (3.9)		8,256 303 (3.7)	8,256 2,123 (25.7)	8,255 115 (1.4)	8,254 3,092 (37.5)	189 4 (2.1)	8,256 747 (9.0)	8,256 780 (9.4)	8,256 599 (7.3)	8,256 2,144 (26.0)	8,256 586 (7.1)	8,256 872 (10.6)	
	要指導 318 (3.9)		168 (2.0)	806 (9.8)	115 (1.4)	2,424 (29.4)	2 (1.1)	639 (7.7)	582 (7.0)	468 (5.7)	1,477 (17.9)	539 (6.5)	588 (7.1)	
	要医療 6 (0.1)		111 (1.3)	1,008 (12.2)	115 (6.7)	0 (0)	108 (1.3)	198 (2.4)	131 (1.6)	667 (8.1)	47 (0.6)	284 (3.4)		
	判定保留		24 (0.3)	309 (3.7)	115 (1.4)									

区分	ホルタル図	眼底	心臓超音波	血管系	超音波	胸部X線	Cマルチヘリカル	肺機能	喀痰細胞診	婦人科内診	婦人科細胞診	婦人科超音波	内科診察	MRI/MRA
計	検査人数 111 有所見者数 111 (100.0)	19,616 5,225 (26.6)	626 102 (16.3)	626 183 (29.2)	59,588 3,174 (5.3)	527 397 (75.3)	19,603 1,967 (10.0)	1,576 8 (0.5)	7,485 844 (11.3)	7,485 102 (1.4)	651 182 (28.0)	19,582 910 (4.6)	1,108 422 (38.1)	
男	検査人数 71 有所見者数 71 (100.0)	11,378 3,368 (29.6)	414 74 (17.9)	414 134 (32.4)	11,374 1,916 (16.8)	390 291 (74.6)	11,365 1,494 (13.1)	1,522 7 (0.5)	7,485 844 (11.3)	7,485 102 (1.4)	651 182 (28.0)	11,339 432 (3.8)	713 281 (39.4)	
	要指導 64 (90.1)	1,667 (14.7)	46 (11.1)	73 (17.6)	1,756 (15.4)	275 (70.5)	1,361 (12.0)	6 (0.4)				311 (2.7)	181 (25.4)	
	要医療 7 (9.9)	1,701 (14.9)	28 (6.8)	61 (14.7)	160 (1.4)	16 (4.1)	133 (1.2)	1 (0.1)				121 (1.1)	100 (14.0)	
	判定保留													
女	検査人数 40 有所見者数 40 (100.0)	8,238 1,857 (22.5)	212 28 (13.2)	212 49 (23.1)	48,214 1,258 (2.6)	137 106 (77.4)	8,238 473 (5.7)	54 1 (1.9)	7,485 844 (11.3)	7,485 102 (1.4)	651 182 (28.0)	8,243 478 (5.8)	395 141 (35.7)	
	要指導 36 (90.0)	1,019 (12.4)	23 (10.8)	35 (16.5)	1,179 (2.4)	96 (70.1)	450 (5.5)	1 (1.9)	737 (9.8)	33 (0.4)	158 (24.3)	373 (4.5)	74 (18.7)	
	要医療 4 (10.0)	838 (10.2)	5 (2.4)	14 (6.6)	79 (0.2)	10 (7.3)	23 (0.3)	0 (0)	107 (1.4)	69 (0.9)	24 (3.7)	105 (1.3)	67 (17.0)	
	判定保留													

表3 歯周病検査（オプション検査）

区 分	総 合 判 定	出 血 （ ヘ モ グ ロ ビ ン ） 検 査	炎 症 （ 乳 酸 脱 水 酵 素 ） 検 査	問 診 ス コ ア
計	検査人数 228	228	228	228
	有所見者数 124 (54.4)	82 (36.0)	96 (42.1)	118 (51.8)
	検査人数 123	123	123	123
	有所見者数 66 (53.7)	42 (34.1)	53 (43.1)	69 (56.1)
男	検査人数 7	9	3	30
有所見内訳	要指導 (5.7)	(7.3)	(2.4)	(24.4)
	要医療 59 (48.0)	33 (26.8)	50 (40.7)	39 (31.7)
	検査人数 105	105	105	105
	有所見者数 58 (55.2)	40 (38.1)	43 (41.0)	49 (46.7)
女	検査人数 9	14	1	22
有所見内訳	要指導 (8.6)	(13.3)	(1.0)	(21.0)
	要医療 49 (46.7)	26 (24.8)	42 (40.0)	27 (25.7)

専門ドック

専門ドックは、「より専門的な検査を受診したい」との要望に応えるため、一日人間ドックセンターの開設とともにスタートした。開設当初は目標人数には及ばなかったが、2005（平成17）年に専門ドックの主要な検査のみ一日人間ドックへ追加するオプション検査とし、受診し易い体制を整備し、大変好評を得ている。

ここでは、一日人間ドックのオプションではなく、単独で実施された専門ドックの結果のみを掲載している。

■実施状況

平成22年度の検査人数は、脳ドック449人（前年度比102.3%）、心臓ドック67人（前年度比106.3%）、肺ドック40人（前年度比133.3%）、レディースドック157人（前年度比118.9%）であった（表1）。いずれも前年度を上回る結果となった。平成22年度より判定が見直され、各コースの主要検査毎の判定と、かつ関連検査を含めた総合判定として結果を出している。ここでは、主要検査別と項目別の成績のみ掲載している。なお、レディースドックについては例年と変わらず実施した検査全てを総合して判定している。

主要検査の有所見率は、脳ドック20.5%、心臓ドック58.2%、肺ドック67.5%であった（表1）。

項目別にみると、各ドックで有所見率が最も高いのは肺ドックのマルチヘリカルCT 82.5%、次いで心臓ドックの血管系超音波20.3%、脳ドックのMRI・MRA 28.8%であった（表2）。

レディースドックにおいては約8割の人が何らかの所見を持っていた。項目別に最も高いのは血清鉄の46.5%で、次いでLDL-コレステロールの32.5%であった。また、40歳以上を対象とした乳房X線の有所見者数は14人（有所見率8.9%）、40歳未満へ推奨している乳房超音波では22人（有所見率14.1%）という結果であった（表3）。これは前年度とほぼ同様の結果であった。

■専門ドック検査項目

区 分	検 査 項 目
脳	MRI・MRA・高次脳機能検査 血液型（ABO・RH）・体温・身長・体重・肥満度・BMI・体脂肪率・内科診察 尿糖・血糖・ヘモグロビンA1C・総コレステロール・HDLコレステロール・LDLコレステロール・中性脂肪・尿酸 赤血球数・血色素量・血球容積・白血球数・血小板数 クレアチニン・尿（蛋白・潜血・沈渣）・AST（GOT）・ALT（GPT）・γ-GTP AST（GOT）・ALT（GPT）・γ-GTP・総蛋白・アルブミン・A/G 胸部X線（CR）・血圧・心電図（安静時）
心 臓	心臓超音波・血管系超音波（頸動脈・腹部大動脈）・ABI・CAVI・BMP 血液型（ABO・RH）・体温・身長・体重・肥満度・BMI・体脂肪率・内科診察 尿糖・血糖・ヘモグロビンA1C・総コレステロール・HDLコレステロール・LDLコレステロール・中性脂肪・尿酸 赤血球数・血色素量・血球容積・白血球数・血小板数 クレアチニン・尿（蛋白・潜血・沈渣） AST（GOT）・ALT（GPT）・γ-GTP・総蛋白・アルブミン・A/G 胸部X線（CR）・血圧・心電図（安静時）・ホルター心電図
肺	胸部X線（CR）・マルチヘリカルCT・肺機能・酸素飽和度・喀痰細胞診 CRP・CEA・シフラ21 体温・身長・体重・肥満度・BMI・体脂肪率・内科診察 尿（蛋白・潜血・沈渣） 赤血球数・血色素量・血球容積・白血球数・血液像 血圧・心電図（安静時）
レディース	婦人科：内診・子宮頸部細胞診・経膈超音波検査・体部細胞診（医師の判断による） 乳房：視触診・X線（40歳以上）・超音波（40歳未満、希望者） 甲状腺：視触診・超音波・※TSH・FT4（医師の判断による） 体温・身長・体重・肥満度・BMI・体脂肪率・腹囲・基礎代謝量 血圧・赤血球数・血色素量・血清鉄・MCH・尿（蛋白・潜血・沈渣） 尿糖・血糖・総コレステロール・HDL-コレステロール・LDL-コレステロール・中性脂肪 音響的骨評価（踵骨超音波法）

表1 脳、心臓、肺ドックにおける主要検査別成績

()内は%

区分	計				男				女			
	検査人数	有所見者数	有所見内訳		検査人数	有所見者数	有所見内訳		検査人数	有所見者数	有所見内訳	
			要経過観察	要医療			要経過観察	要医療			要経過観察	要医療
脳	451	93 (20.6)	38 (8.4)	55 (12.2)	283	65 (23.0)	27 (9.5)	38 (13.4)	168	28 (16.7)	11 (6.5)	17 (10.1)
心臓	72	39 (54.2)	20 (27.8)	19 (26.4)	54	28 (51.9)	14 (25.9)	14 (25.9)	18	11 (-)	6 (-)	5 (-)
肺	40	27 (67.5)	18 (45.0)	9 (22.5)	27	19 (-)	12 (-)	7 (-)	13	8 (-)	6 (-)	2 (-)

表2 脳・心臓・肺ドック 項目別成績

区分	脳		心臓 (循環器)							肺 (呼吸器)			
	MRI MRA	高次脳機能	血圧	心電図※	ホルター心電図	心臓超音波	血管系超音波	A B I	C A V I	B N P	胸部X線※	マルチヘリカルCT	
計	検査人数 451 有所見者数 130 (28.8)	451 2 (0.4)	491 163 (33.2)	490 194 (39.6)	2 2 (-)	72 14 (19.4)	72 15 (20.8)	72 4 (5.6)	72 7 (9.7)	72 5 (6.9)	483 37 (7.7)	40 33 (82.5)	
男	検査人数	283	312	312	1	54	54	54	54	54	308	27	
	有所見者数	92 (32.5)	1 (0.4)	120 (38.5)	139 (44.6)	1 (-)	11 (20.4)	11 (20.4)	4 (7.4)	6 (11.1)	4 (7.4)	23 (7.5)	23 (-)
	要指導	54 (19.1)		65 (20.8)	114 (36.5)	1 (-)	9 (16.7)	4 (7.4)	4 (7.4)		1 (1.9)	21 (6.8)	21 (-)
女	検査人数	168	178	178	1	18	18	18	18	18	175	13	
	有所見者数	38 (22.6)	1 (0.6)	43 (24.0)	55 (30.9)	1 (-)	3 (-)	4 (-)	0 (-)	1 (-)	1 (-)	14 (8.0)	10 (-)
	要指導	22 (13.1)		30 (16.8)	45 (25.3)	0 (-)	2 (-)	4 (-)	0 (-)		0 (-)	12 (6.9)	9 (-)
計	検査人数	451	451	491	490	2	72	72	72	72	483	40	
	有所見者数	130 (28.8)	2 (0.4)	163 (33.2)	194 (39.6)	2 (-)	14 (19.4)	15 (20.8)	4 (5.6)	7 (9.7)	5 (6.9)	37 (7.7)	33 (82.5)
	要医療	38 (13.4)	1 (0.4)	55 (17.6)	25 (8.0)	0 (-)	2 (3.7)	7 (13.0)	0 (0)	6 (11.1)	3 (5.6)	2 (0.6)	2 (-)

区分	関 連 検 査												
	LDH コレステロール	中性脂肪	尿酸	赤血球数	血色素量	血球容積	M C H	M C V	M C H C	白血球数	血液像	血小板数	
計	検査人数 479 有所見者数 232 (48.4)	479 157 (32.8)	479 96 (20.0)	491 44 (9.0)	491 38 (7.7)	491 42 (8.6)	491 23 (4.7)	491 21 (4.3)	491 15 (3.1)	491 22 (4.5)	40 4 (10.0)	479 7 (1.5)	
男	検査人数	305	305	312	312	312	312	312	312	312	27	305	
	有所見者数	141 (46.2)	123 (40.3)	74 (24.3)	31 (9.9)	18 (5.8)	29 (9.3)	11 (3.5)	11 (3.5)	10 (3.2)	18 (5.8)	3 (-)	3 (1.0)
	要指導	87 (28.5)	71 (23.3)	68 (22.3)	30 (9.6)	15 (4.8)	24 (7.7)	9 (2.9)	8 (2.6)	10 (3.2)	17 (5.4)	3 (-)	2 (0.7)
女	検査人数	174	174	174	179	179	179	179	179	179	13	174	
	有所見者数	91 (52.3)	34 (19.5)	22 (12.6)	13 (7.3)	20 (11.2)	13 (7.3)	12 (6.7)	10 (5.6)	5 (2.8)	4 (2.2)	1 (-)	4 (2.3)
	要指導	39 (22.4)	25 (14.4)	21 (12.1)	12 (6.7)	14 (7.8)	10 (5.6)	6 (3.4)	4 (2.2)	3 (1.7)	3 (1.7)	1 (-)	3 (1.7)
計	検査人数	479	479	479	491	491	491	491	491	491	40	479	
	有所見者数	232 (48.4)	157 (32.8)	96 (20.0)	44 (9.0)	38 (7.7)	42 (8.6)	23 (4.7)	21 (4.3)	15 (3.1)	22 (4.5)	4 (10.0)	7 (1.5)
	要医療	54 (17.7)	52 (17.0)	6 (2.0)	1 (0.3)	3 (1.0)	5 (1.6)	2 (0.6)	3 (1.0)	0 (0)	1 (0.3)	0 (-)	1 (0.3)

()内は%

肺機能	肺 (呼吸器)					関連検査						
	酸素飽和度	喀痰細胞診	C R P	C E A	シ フ ラ 2 1 1	体 脂 肪 率	内 科 診 察	尿 糖	血 糖	ヘ モ グ ロ ビ ン c	総 ス テ コ ロ ー ル	H ス テ ロ コ ー ル
40 5 (12.5)	40 0 (0)	34 0 (0)	40 4 (10.0)	40 8 (20.0)	40 0 (0)	491 210 (42.8)	492 81 (16.5)	479 43 (9.0)	479 66 (13.8)	479 193 (40.3)	479 112 (23.4)	479 42 (8.8)
27 5 (-)	27 0 (-)	24 0 (-)	27 4 (-)	27 6 (-)	27 0 (-)	312 158 (50.6)	312 50 (16.0)	305 39 (12.8)	305 47 (15.4)	305 128 (42.0)	305 61 (20.0)	305 32 (10.5)
3 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (-)	5 (-)		116 (37.2)	42 (13.5)	8 (2.6)	34 (11.1)	97 (31.8)	36 (11.8)	24 (7.9)
2 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	1 (-)	0 (-)	42 (13.5)	8 (2.6)	31 (10.2)	13 (4.3)	31 (10.2)	25 (8.2)	8 (2.6)
13 0 (-)	13 0 (-)	10 0 (-)	13 0 (-)	13 2 (-)	13 0 (-)	179 52 (29.1)	180 31 (17.2)	174 4 (2.3)	174 19 (10.9)	174 65 (37.4)	174 51 (29.3)	174 10 (5.7)
0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)		38 (21.2)	27 (15.0)	2 (1.1)	18 (10.3)	59 (33.9)	32 (18.4)	10 (5.7)
0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (-)	0 (-)	14 (7.8)	4 (2.2)	2 (1.1)	1 (0.6)	6 (3.4)	19 (10.9)	0 (0)

*全コースの検査項目に含まれる。受診コースによっては、主要検査とならない場合、関連検査として判定に加味される。

()内は%

クレアチニン	関連検査								
	尿 蛋 白	尿 潜 血	尿 沈 渣	A (S O T)	A (G L P T)	γ G T P	総 蛋 白	ア ル ブ ミ ン	A / G
479 13 (2.7)	491 13 (2.6)	491 49 (10.0)	491 57 (11.6)	479 76 (15.9)	479 102 (21.3)	479 131 (27.3)	479 17 (3.5)	479 22 (4.6)	479 18 (3.8)
305 9 (3.0)	312 11 (3.5)	312 16 (5.1)	312 16 (5.1)	305 63 (20.7)	305 94 (30.8)	305 124 (40.7)	305 9 (3.0)	305 11 (3.6)	305 13 (4.3)
7 (2.3)	3 (1.0)	8 (2.6)	15 (4.8)	53 (17.4)	64 (21.0)	79 (25.9)	8 (2.6)	11 (3.6)	10 (3.3)
2 (0.7)	8 (2.6)	8 (2.6)	1 (0.3)	10 (3.3)	30 (9.8)	45 (14.8)	1 (0.3)	0 (0)	3 (1.0)
174 4 (2.3)	179 2 (1.1)	179 33 (18.4)	179 41 (22.9)	174 13 (7.5)	174 8 (4.6)	174 7 (4.0)	174 8 (4.6)	174 11 (6.3)	174 5 (2.9)
4 (2.3)	1 (0.6)	15 (8.4)	35 (19.6)	13 (7.5)	7 (4.0)	5 (2.9)	7 (4.0)	10 (5.7)	5 (2.9)
0 (0)	1 (0.6)	11 (6.1)	3 (1.7)	0 (0)	1 (0.6)	2 (1.1)	1 (0.6)	1 (0.6)	0 (0)
		7 (3.9)	3 (1.7)						

表3 レディースドック 項目別成績

() 内は%

区 分	総 合 判 定	体 脂 肪 率	腹 囲	基 礎 代 謝 量	血 圧	赤 血 球 数	血 色 素 量	M C H	血 清 鉄	尿 蛋 白	尿 潜 血	尿 沈 渣	尿 糖	血 糖	総ス テ コロ ー レル
検査人数	157	155	157	155	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
有所見者数	129 (82.2)	38 (24.5)	19 (12.1)		24 (15.3)	9 (5.7)	32 (20.4)	31 (19.7)	73 (46.5)	1 (0.6)	31 (19.7)	48 (30.6)	3 (1.9)	11 (7.0)	27 (17.2)
有所見内訳	要指導	70 (44.6)	31 (20.0)	19 (12.1)	16 (10.2)	9 (5.7)	21 (13.4)	12 (7.6)	31 (19.7)	0 (0)	11 (7.0)	38 (24.2)	1 (0.6)	6 (3.8)	19 (12.1)
	要医療	59 (37.6)	7 (4.5)		8 (5.1)	0 (0)	11 (7.0)	19 (12.1)	42 (26.8)	1 (0.6)	10 (6.4)	7 (4.5)	2 (1.3)	5 (3.2)	8 (5.1)
	判定保留										10 (6.4)	3 (1.9)			

区 分	Hス Dテ Lロ コロ レル	Lス Dテ Lロ コロ レル	中 性 脂 肪	音 響 的	骨 評 価 値	甲 状 腺 視 触 診	甲 状 腺 超 音 波	甲 状 腺 T S H	甲 状 腺 F T 4	乳 房 視 触 診	乳 房 X 線	乳 房 超 音 波	婦 人 科 内 診	婦 人 科 細 胞 診	婦 人 科 超 音 波
検査人数	157	157	157	157		157	157	9	9	157	157	156	156	156	155
有所見者数	5 (3.2)	51 (32.5)	26 (16.6)	33 (21.0)		5 (3.2)	34 (21.7)	1 (-)	0 (-)	19 (12.1)	14 (8.9)	22 (14.1)	32 (20.5)	4 (2.6)	41 (26.5)
有所見内訳	要指導	5 (3.2)	34 (21.7)	20 (12.7)	25 (15.9)	3 (1.9)	23 (14.6)			18 (11.5)	9 (5.7)	20 (12.8)	30 (19.2)	1 (0.6)	40 (25.8)
	要医療	0 (0)	17 (10.8)	6 (3.8)	8 (5.1)	2 (1.3)	11 (7.0)	1 (-)	0 (-)	1 (0.6)	5 (3.2)	2 (1.3)	2 (1.3)	3 (1.9)	1 (0.6)
	判定保留														

生活機能評価

高齢社会に突入した現在、「元気に自分らしく、長生きする」ことが誰もの願いである。元気で長生きするには生活習慣病を予防するとともに、老化の進行を防ぎ改善を図ることが必要である。介護保険制度の改正とともに、介護予防の第一歩として生活機能に関する評価の実施が2006（平成18）年から開始された。

■実施状況

平成22年度の実施団体は30市町村、検査人数は前年度より2,886人減の28,488人であった。団体数の減少によるものと思われる。全体の45.3%にあたる候補者12,912人が特定高齢者の条件に該当するとして選定された（表1）。

特定高齢者の把握については、生活機能評価からの選定だけでなく、地域住民からの連絡や市町村の訪問活動・相談窓口からも見出される。最終的には地域包括支援センターにおいて特定高齢者の決定がなされる。こうした広汎な地域ネットワークによる密接な連携の下、高齢者本人の自己実現の支援をすることが介護予防のめざすところである。

■生活機能に関する項目（基本チェックリスト）

基本チェックリスト	介護プログラムとの対応
1 バスや電車で1人で外出していますか	
2 日用品の買物をしていますか	
3 預貯金の出し入れをしていますか	
4 友人の家をたずねていますか	
5 家族や友人の相談にのっていますか	
6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	
7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
8 15分位続けて歩いていますか	運動器の機能向上
9 この1年間に転んだことがありますか	
10 転倒に対する不安は大きいですか	
11 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	栄養改善
12 身長 cm 体重 kg (BMI =) ※	
13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
14 お茶や汁物等でむせることがありますか	口腔機能の向上
15 口の渇きが気になりますか	
16 週に1回以上は外出していますか	
17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	
18 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	
19 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	認知症予防・支援
20 今日が何日かわからない時がありますか	
21 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	
22 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	
23 (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	うつ病予防・支援
24 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	
25 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	

※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)が18.5未満の場合に該当とする。

■問診

自覚症状・既往歴・生活機能に関する項目

■検査

身長・体重・BMI・血圧・

理学的検査 { 口腔内視診
反復唾液嚥下テスト
関節可動域

貧血検査 { 血色素量
血球容積
赤血球数

血清アルブミン

心電図検査

※基本健康診査のデータを基本とし、不足する項目は新たに実施する。

表1 検診から判定報告書提出までの流れ

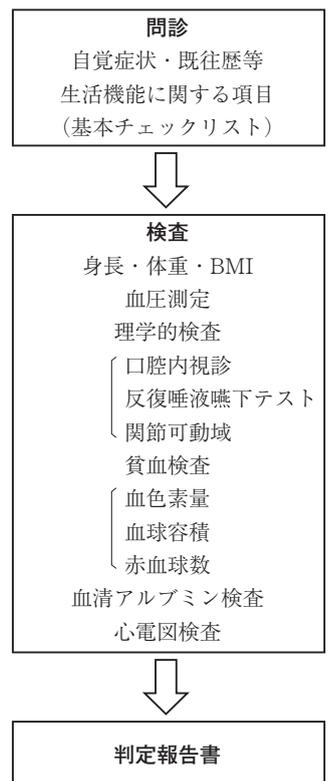


表1 実施状況

() 内は%

団体名	検査 人数	候補	決定	全般 候補	運動		栄養			口腔		閉じこもり 決定	認知症 決定	うつ 決定
					候補	決定	候補	決定	(Alb)	候補	決定			
計	28,488	12,912 (45.3)	12,912 (45.3)	1,582 (5.6)	8,071 (28.3)	8,071 (28.3)	392 (1.4)	923 (3.2)	(569) (2.0)	6,748 (23.7)	7,996 (28.1)	2,373 (8.3)	7,010 (24.6)	5,721 (20.1)
盛岡市	602	99 (16.4)	99 (16.4)	14 (2.3)	63 (10.5)	63 (10.5)	3 (0.5)	7 (1.2)	(4) (0.7)	50 (8.3)	62 (10.3)	18 (3.0)	52 (8.6)	40 (6.6)
紫波町	647	638 (98.6)	638 (98.6)	98 (15.1)	396 (61.2)	396 (61.2)	13 (2.0)	62 (9.6)	(54) (8.3)	357 (55.2)	410 (63.4)	85 (13.1)	380 (58.7)	313 (48.4)
矢巾町	1,693	353 (20.9)	353 (20.9)	42 (2.5)	205 (12.1)	205 (12.1)	21 (1.2)	29 (1.7)	(9) (0.5)	179 (10.6)	211 (12.5)	53 (3.1)	158 (9.3)	92 (5.4)
八幡平市	1,961	364 (18.6)	364 (18.6)	34 (1.7)	202 (10.3)	202 (10.3)	18 (0.9)	27 (1.4)	(10) (0.5)	200 (10.2)	233 (11.9)	75 (3.8)	164 (8.4)	84 (4.3)
葛巻町	831	199 (23.9)	199 (23.9)	18 (2.2)	125 (15.0)	125 (15.0)	2 (0.2)	7 (0.8)	(5) (0.6)	106 (12.8)	129 (15.5)	55 (6.6)	114 (13.7)	86 (10.3)
岩手町	1,386	290 (20.9)	290 (20.9)	37 (2.7)	151 (10.9)	151 (10.9)	2 (0.1)	11 (0.8)	(9) (0.6)	165 (11.9)	186 (13.4)	49 (3.5)	171 (12.3)	132 (9.5)
花巻市	2,341	2,332 (99.6)	2,332 (99.6)	294 (12.6)	1,487 (63.5)	1,487 (63.5)	80 (3.4)	192 (8.2)	(118) (5.0)	1,226 (52.4)	1,472 (62.9)	483 (20.6)	1,319 (56.3)	1,224 (52.3)
北上市	935	918 (98.2)	918 (98.2)	100 (10.7)	545 (58.3)	545 (58.3)	20 (2.1)	54 (5.8)	(40) (4.3)	525 (56.1)	595 (63.6)	112 (12.0)	517 (55.3)	413 (44.2)
西和賀町	165	163 (98.8)	163 (98.8)	18 (10.9)	119 (72.1)	119 (72.1)	6 (3.6)	23 (13.9)	(17) (10.3)	72 (43.6)	110 (66.7)	28 (17.0)	79 (47.9)	86 (52.1)
奥州市	54	53 (98.1)	53 (98.1)	4 (7.4)	34 (63.0)	34 (63.0)	3 (5.6)	5 (9.3)	(2) (3.7)	25 (46.3)	27 (50.0)	12 (22.2)	35 (64.8)	26 (48.1)
一関市	1,473	1,462 (99.3)	1,462 (99.3)	183 (12.4)	870 (59.1)	870 (59.1)	22 (1.5)	86 (5.8)	(64) (4.3)	847 (57.5)	965 (65.5)	284 (19.3)	813 (55.2)	620 (42.1)
平泉町	111	91 (82.0)	91 (82.0)	13 (11.7)	60 (54.1)	60 (54.1)	3 (2.7)	3 (2.7)	(2) (1.8)	51 (45.9)	58 (52.3)	23 (20.7)	65 (58.6)	41 (36.9)
藤沢町	323	318 (98.5)	318 (98.5)	48 (14.9)	194 (60.1)	194 (60.1)	7 (2.2)	32 (9.9)	(26) (8.0)	194 (60.1)	223 (69.0)	93 (28.8)	187 (57.9)	143 (44.3)
陸前高田市	143	109 (76.2)	109 (76.2)	5 (3.5)	85 (59.4)	85 (59.4)	2 (1.4)	4 (2.8)	(4) (2.8)	33 (23.1)	48 (33.6)	8 (5.6)	40 (28.0)	36 (25.2)
大船渡市	1,793	311 (17.3)	311 (17.3)	18 (1.0)	178 (9.9)	178 (9.9)	17 (0.9)	25 (1.4)	(8) (0.4)	162 (9.0)	180 (10.0)	31 (1.7)	135 (7.5)	77 (4.3)
遠野市	2,718	631 (23.2)	631 (23.2)	73 (2.7)	393 (14.5)	393 (14.5)	34 (1.3)	64 (2.4)	(31) (1.1)	315 (11.6)	375 (13.8)	110 (4.0)	352 (13.0)	330 (12.1)
釜石市	3,471	600 (17.3)	600 (17.3)	39 (1.1)	418 (12.0)	418 (12.0)	33 (1.0)	70 (2.0)	(42) (1.2)	222 (6.4)	307 (8.8)	72 (2.1)	184 (5.3)	116 (3.3)
大槌町	224	220 (98.2)	220 (98.2)	38 (17.0)	163 (72.8)	163 (72.8)	5 (2.2)	11 (4.9)	(6) (2.7)	90 (40.2)	114 (50.9)	47 (21.0)	124 (55.4)	102 (45.5)
宮古市	941	935 (99.4)	935 (99.4)	88 (9.4)	549 (58.3)	549 (58.3)	29 (3.1)	53 (5.6)	(25) (2.7)	508 (54.0)	588 (62.5)	138 (14.7)	502 (53.3)	343 (36.5)
山田町	235	231 (98.3)	231 (98.3)	25 (10.6)	146 (62.1)	146 (62.1)	11 (4.7)	15 (6.4)	(5) (2.1)	109 (46.4)	128 (54.5)	37 (15.7)	98 (41.7)	80 (34.0)
岩泉町	148	148 (100.0)	148 (100.0)	16 (10.8)	111 (75.0)	111 (75.0)	3 (2.0)	6 (4.1)	(3) (2.0)	54 (36.5)	71 (48.0)	34 (23.0)	65 (43.9)	67 (45.3)
田野畑村	57	43 (75.4)	43 (75.4)	9 (15.8)	28 (49.1)	28 (49.1)	2 (3.5)	3 (5.3)	(1) (1.8)	20 (35.1)	21 (36.8)	21 (36.8)	28 (49.1)	20 (35.1)
洋野町	227	214 (94.3)	214 (94.3)	27 (11.9)	153 (67.4)	153 (67.4)	4 (1.8)	6 (2.6)	(2) (0.9)	111 (48.9)	121 (53.3)	38 (16.7)	116 (51.1)	100 (44.1)
普代村	261	39 (14.9)	39 (14.9)	4 (1.5)	23 (8.8)	23 (8.8)	3 (1.1)	3 (1.1)	(0) (0)	18 (6.9)	22 (8.4)	7 (2.7)	12 (4.6)	8 (3.1)
野田村	74	40 (54.1)	40 (54.1)	5 (6.8)	36 (48.6)	36 (48.6)	0 (0)	1 (1.4)	(1) (1.4)	14 (18.9)	17 (23.0)	9 (12.2)	23 (31.1)	23 (31.1)
久慈市	358	344 (96.1)	344 (96.1)	51 (14.2)	206 (57.5)	206 (57.5)	3 (0.8)	17 (4.7)	(14) (3.9)	192 (53.6)	226 (63.1)	45 (12.6)	189 (52.8)	166 (46.4)
二戸市	2,872	775 (27.0)	775 (27.0)	108 (3.8)	453 (15.8)	453 (15.8)	21 (0.7)	45 (1.6)	(27) (0.9)	428 (14.9)	512 (17.8)	157 (5.5)	499 (17.4)	407 (14.2)
軽米町	251	243 (96.8)	243 (96.8)	33 (13.1)	168 (66.9)	168 (66.9)	4 (1.6)	18 (7.2)	(16) (6.4)	105 (41.8)	139 (55.4)	53 (21.1)	131 (52.2)	125 (49.8)
一戸町	2,105	661 (31.4)	661 (31.4)	123 (5.8)	440 (20.9)	440 (20.9)	18 (0.9)	35 (1.7)	(18) (0.9)	328 (15.6)	396 (18.8)	168 (8.0)	414 (19.7)	370 (17.6)
九戸村	88	88 (100.0)	88 (100.0)	17 (19.3)	70 (79.5)	70 (79.5)	3 (3.4)	9 (10.2)	(6) (6.8)	42 (47.7)	50 (56.8)	28 (31.8)	44 (50.0)	51 (58.0)



部門別事業報告

Ⅵ 追跡調査結果

1. 胃がん検診追跡調査結果
(平成21年度)
2. 肺がん検診追跡調査結果
(平成21年度)
3. 子宮がん検診追跡調査結果
(平成21年度)
4. 乳がん検診追跡調査結果
(平成21年度)
5. 大腸がん検診追跡調査結果
(平成21年度)
6. 前立腺特異抗原検診追跡調査結果
(平成21年度)
7. 至急連絡による追跡調査結果
(平成21年度)
8. 肝炎ウイルス検診追跡調査結果

追跡調査結果

追跡調査は、各種検査で要精密検査と判断したものを確実に医療機関につなぐことと、更はその診断結果を把握することで健康診断の精度向上をはかることを目的としている。現在、地域保健部門では実施市町村の保健師が精密検査未受診者に直接働きかけ、受診状況の確認および受診勧奨を行っている。また、人間ドック部門では受診後3～4カ月を目安に精密検査未受診者に対して受診確認の文書を送付し、受診状況を把握するとともに受診を勧奨している。これに比較して産業保健部門では事業場等に専門的な知識を持ったスタッフの配置が少ないため、他部門のように精密検査未受診者に対しての調査、受診勧奨が徹底出来ない状況にある。

当協会では、受診情報をもとに医療機関へ直接に結果を問い合わせるなど、回収率の向上に努めている。

■実施状況

主な検査・検診の平成21年度追跡調査結果を表にした。精密検査受診率は、性別にみると例年同様男性に比べ女性が高くなっている。また、検診別では肺がん検診が最も高く87.2%、最も低いのが大腸がん検診59.8%と検診により大きな差があった。部門別では、地域保健部門が70%を超え、以下の人間ドック部門、産業保健部門と続いている。

精密検査受診率については、医療機関からの回答率も大きく関係する。地域保健・一日人間ドックについては得られた情報をもとに医療機関に問い合わせるなどして回収率の向上に努めている。

なお、追跡調査の集計において、対象者から精密検査受診の報告があっても、医療機関から診断結果の報告がないものについては未受診者とし、精密検査受診者数には含めていない。

■追跡調査の対象とする条件

1. ①～⑭に関してc判定および医師の指示
2. ⑮に関して基準値を越えたものおよび医師の指示
3. 健診実施団体が追跡調査実施に同意していること

■追跡調査対象検査項目

- ①胃がん検診（胃部X線検査）
- ②肺がん検診（胸部X線検査・喀痰細胞診検査）
- ③子宮がん検診（子宮内診検査・子宮頸部細胞診検査・子宮体部細胞診検査）
- ④乳がん検診（乳房視触診検査・乳房X線検査・乳房超音波検査）
- ⑤大腸がん検診（便潜血反応検査）
- ⑥前立腺特異抗原検診（前立腺特異抗原検査）
- ⑦甲状腺視触診検査・甲状腺超音波検査
- ⑧AFP検査
- ⑨腹部超音波検査
- ⑩膀胱超音波検査
- ⑪心臓血管系超音波検査
- ⑫胸部CT検査
- ⑬脳MRI検査
- ⑭肝炎ウイルス検査
- ⑮血液一般検査・生化学的検査・眼底検査・心電図検査の至急連絡

■追跡調査結果の流れ

1. 対象者に対して、精密検査受診勧奨文書と医療機関宛の紹介状（診断名報告用連絡票を同封）を発行する。
2. 精密検査実施医療機関から診断名などの報告を受ける。
3. 個々に記録を整備し、結果を解析する。

1. 胃がん検診追跡調査結果（平成21年度）

■実施状況

当協会の胃がん検診（胃部X線検査）は、産業保健と一日人間ドックで全体の99%以上を占める。要精密検査率は全体の8.8%、精密検査受診率は69.5%であった。精密検査受診者3,862人のうち、胃がんと診断されたのは56人、うち78.6%が早期がんであった。性別・年代別では60歳以上の男性のがん発見率が特に高い。

表1 精密検査受診状況（全体）

区分	検査人数	要精密検査者数	要精密検査率	精検 受診者数	精検 受診率	胃がん		
						小計	早期がん	進行がん
計	63,077	5,556	8.8%	3,862	69.5%	56	44	8
地域保健	399	54	13.5%	38	70.4%	0	0	0
産業保健	44,662	3,454	7.7%	2,167	62.7%	21	18	2
一日人間ドック	18,016	2,048	11.4%	1,657	80.9%	35	26	6

表2 性別・年齢階級別精密検査受診状況

区分	検査人数	要精密検査者数	要精密検査率	精検 受診者数	精検 受診率	胃がん			
						小計	早期がん	進行がん	
計	63,077	5,556	8.8%	3,862	69.5%	56	44	8	
男	～29歳	287	8	2.8%	4	—	0	0	0
	30～34	1,082	48	4.4%	34	70.8%	0	0	0
	35～39	5,606	270	4.8%	172	63.7%	0	0	0
	40～44	6,415	413	6.4%	258	62.5%	0	0	0
	45～49	6,940	563	8.1%	328	58.3%	2	2	0
	50～54	6,603	736	11.1%	406	55.2%	5	5	0
	55～59	6,314	865	13.7%	534	61.7%	7	5	2
	60～64	3,897	565	14.5%	405	71.7%	16	12	2
	65～69	1,603	274	17.1%	230	83.9%	2	2	0
	70～74	896	159	17.7%	133	83.6%	6	5	0
	75～79	355	80	22.5%	76	95.0%	2	1	1
	80歳～	129	23	17.8%	21	—	2	1	1
	小計	40,127	4,004	10.0%	2,601	65.0%	42	33	6
女	～29歳	190	2	1.1%	2	—	0	0	0
	30～34	588	21	3.6%	18	—	0	0	0
	35～39	3,018	100	3.3%	89	89.0%	0	0	0
	40～44	3,673	162	4.4%	113	69.8%	1	0	1
	45～49	4,014	208	5.2%	155	74.5%	0	0	0
	50～54	3,974	270	6.8%	208	77.0%	4	3	1
	55～59	3,508	325	9.3%	267	82.2%	5	5	0
	60～64	2,042	223	10.9%	188	84.3%	1	1	0
	65～69	1,057	131	12.4%	121	92.4%	1	1	0
	70～74	647	76	11.7%	70	92.1%	1	1	0
	75～79	185	25	13.5%	22	—	1	0	0
80歳～	54	9	16.7%	8	—	0	0	0	
小計	22,950	1,552	6.8%	1,261	81.3%	14	11	2	

平成23年8月31日現在

精 検 結 果 内 訳	胃がん疑い	胃ポリープ	胃潰瘍	その他	異常なし	不 明	がん発見率	陽性反応 適中度
4	2	503	244	2,098	954	5	0.09%	1.45%
0	0	7	2	22	7	0	0%	0%
1	1	234	167	1,188	553	3	0.05%	0.97%
3	1	262	75	888	394	2	0.19%	2.11%

産業保健その他：食道がん(2) 含む

精 検 結 果 内 訳	胃がん疑い	胃ポリープ	胃潰瘍	その他	異常なし	不 明	がん発見率	陽性反応 適中度
4	2	503	244	2,098	954	5	0.09%	1.45%
0	0	0	0	2	2	0	0%	-
0	0	2	3	16	13	0	0%	0%
0	0	17	8	85	62	0	0%	0%
0	0	20	18	129	91	0	0%	0%
0	0	42	26	192	66	0	0.03%	0.61%
0	0	34	43	248	76	0	0.08%	1.23%
0	0	35	54	318	119	1	0.11%	1.31%
2	0	48	17	252	71	1	0.41%	3.95%
0	1	30	10	141	45	1	0.12%	0.87%
1	0	16	4	80	27	0	0.67%	4.51%
0	0	11	3	51	9	0	0.56%	2.63%
0	0	2	0	12	5	0	1.55%	-
3	1	257	186	1526	586	3	0.10%	1.61%
0	0	1	0	1	0	0	0%	-
0	0	6	1	3	8	0	0%	-
0	0	22	5	31	31	0	0%	0%
0	0	27	4	43	38	0	0.03%	0.88%
0	0	32	11	70	42	0	0%	0%
0	0	40	12	86	66	0	0.10%	1.92%
0	0	41	15	128	77	1	0.14%	1.87%
0	1	34	5	89	57	1	0.05%	0.53%
0	0	26	1	66	27	0	0.09%	0.83%
0	0	13	2	39	15	0	0.15%	1.43%
1	0	3	1	11	6	0	0.54%	-
0	0	1	1	5	1	0	0%	-
1	1	246	58	572	368	2	0.06%	1.11%

男35～39歳 その他:食道がん(2) 含む

(備考) がん発見率(%)=胃がん数/受診者数×100 陽性反応の適中度(%)=胃がん数/精検受診者数×100

2. 肺がん検診追跡調査結果（平成21年度）

■受診状況

胸部X線検査の要精密検査率は1.9%、精密検査受診率は87.2%であった。精密検査受診者1,528人のうち原発性肺がんは37人、転移性肺がん2人、がん発見率0.04%であった。

喀痰細胞診検査の要精密検査率は0.3%、精密検査受診率は76.7%であった。精密検査受診者23人のうち原発性肺がん13人、がん発見率0.13%であった。

【胸部X線検査】

表1 精密検査受診状況（全体）

区 分	検査人数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	原発性肺がん 転移性肺がん	
						原発性肺がん	転移性肺がん
計	93,272	1,752	1.9%	1,528	87.2%	37	2
地域保健	66,107	1,442	2.2%	1,265	87.7%	29	2
産業保健	8,533	86	1.0%	71	82.6%	2	0
一日人間ドック	18,632	224	1.2%	192	85.7%	6	0

表2 性別・年齢階級別精密検査受診状況

性別	年齢区分	検査人数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	原発性肺がん 転移性肺がん	
							原発性肺がん	転移性肺がん
	計	93,272	1,752	1.9%	1,528	87.2%	37	2
男	～39歳	2,635	22	0.8%	20	—	0	0
	40～44	3,177	20	0.6%	16	—	0	0
	45～49	3,583	31	0.9%	23	74.2%	0	0
	50～54	4,447	55	1.2%	43	78.2%	1	0
	55～59	5,736	92	1.6%	75	81.5%	3	0
	60～64	6,267	120	1.9%	101	84.2%	2	0
	65～69	6,175	155	2.5%	134	86.5%	2	1
	70～74	5,764	167	2.9%	141	84.4%	8	0
	75～79	3,986	131	3.3%	114	87.0%	5	0
	80歳～	2,196	149	6.8%	135	90.6%	3	1
	小計	43,966	942	2.1%	802	85.1%	24	2
女	～39歳	1,751	4	0.2%	4	—	0	0
	40～44	3,117	20	0.6%	15	—	0	0
	45～49	3,565	30	0.8%	25	83.3%	0	0
	50～54	4,755	45	0.9%	42	93.3%	0	0
	55～59	7,093	78	1.1%	71	91.0%	3	0
	60～64	8,411	120	1.4%	109	90.8%	2	0
	65～69	7,334	117	1.6%	110	94.0%	3	0
	70～74	6,823	150	2.2%	132	88.0%	3	0
	75～79	4,323	149	3.4%	131	87.9%	1	0
	80歳～	2,134	97	4.5%	87	89.7%	1	0
	小計	49,306	810	1.6%	726	89.6%	13	0

平成23年8月31日現在

精 密 検 査 結 果						がん 発見率	陽性反応 適中度
肺がん疑い	縦隔腫瘍	肺結核	その他	異常なし	不 明		
20	1	3	915	548	2	0.04%	2.42%
18	1	2	781	432	0	0.04%	2.29%
0	0	0	28	41	0	0.02%	2.82%
2	0	1	106	75	2	0.03%	3.13%

精 密 検 査 結 果						がん 発見率	陽性反応 適中度
肺がん疑い	縦隔腫瘍	肺結核	その他	異常なし	不 明		
20	1	3	915	548	2	0.04%	2.42%
0	0	0	6	14	0	0%	—
0	0	0	6	10	0	0%	—
0	0	1	10	12	0	0%	—
1	0	0	20	21	0	0.02%	2.33%
2	0	0	43	27	0	0.05%	4.00%
1	0	0	62	36	0	0.03%	1.98%
2	0	1	81	47	0	0.03%	1.49%
0	0	0	90	43	0	0.14%	5.67%
3	0	0	72	33	1	0.13%	4.39%
4	1	0	111	15	0	0.14%	2.22%
13	1	2	501	258	1	0.05%	2.99%
0	0	0	1	3	0	0%	—
0	0	0	6	9	0	0%	—
0	0	1	13	11	0	0%	—
0	0	0	22	20	0	0%	0%
0	0	0	37	31	0	0.04%	4.23%
1	0	0	65	41	0	0.02%	1.83%
2	0	0	63	42	0	0.04%	2.73%
1	0	0	74	53	1	0.04%	2.27%
1	0	0	82	47	0	0.02%	0.76%
2	0	0	51	33	0	0.05%	1.15%
7	0	1	414	290	1	0.03%	1.79%

(備考) がん発見率(%)=原発性肺がん数/受診者数×100 陽性反応の中度(%)=原発性肺がん数/精検受診者数×100

【喀痰細胞診検査】

表3 精密検査受診状況

区分	検査人数	肺癌学会基準分類					要精検者数	要精検率	精検受診者数
		A	B	C	D	E			
計	9,938	633	9,222	53	20	10	30	0.3%	23
地域保健	4,832	176	4,606	25	16	9	25	0.5%	19
産業保健	3,396	379	3,002	12	3	0	3	0.1%	2
一日人間ドック	1,710	78	1,614	16	1	1	2	0.1%	2

表4 性別・年齢階級別精密検査受診状況

性別	年齢区分	検査人数	肺癌学会基準分類					要精検者数	要精検率	精検受診者数
			A	B	C	D	E			
計		9,938	633	9,222	53	20	10	30	0.3%	23
男	～39歳	572	65	507	0	0	0	0	0%	0
	40～44	678	74	602	1	1	0	1	0.1%	0
	45～49	729	64	662	2	1	0	1	0.1%	1
	50～54	1,152	78	1,065	7	2	0	2	0.2%	2
	55～59	1,268	58	1,200	8	1	1	2	0.2%	0
	60～64	1,361	41	1,305	9	4	2	6	0.4%	5
	65～69	1,345	55	1,282	7	0	1	1	0.1%	1
	70～74	1,015	36	963	8	4	4	8	0.8%	6
	75～79	571	21	540	4	4	2	6	1.1%	5
	80歳～	313	12	295	3	3	0	3	1.0%	3
小計	9,004	504	8,421	49	20	10	30	0.3%	23	
女	～39歳	126	30	95	1	0	0	0	0%	0
	40～44	132	29	103	0	0	0	0	0%	0
	45～49	125	20	104	1	0	0	0	0%	0
	50～54	137	21	116	0	0	0	0	0%	0
	55～59	132	14	118	0	0	0	0	0%	0
	60～64	87	4	83	0	0	0	0	0%	0
	65～69	79	3	75	1	0	0	0	0%	0
	70～74	62	5	56	1	0	0	0	0%	0
	75～79	37	1	36	0	0	0	0	0%	0
	80歳～	17	2	15	0	0	0	0	—	0
小計	934	129	801	4	0	0	0	0%	0	

精検受診率	精 密 検 査 結 果						がん 発見率	陽性反応 適中度
	原発性 肺がん	転移性 肺がん	肺がん 疑い	その他	異常なし	不 明		
76.7%	13	0	1	7	2	0	0.13%	—
—	11	0	1	6	1	0	0.23%	—
—	0	0	0	1	1	0	0%	—
—	2	0	0	0	0	0	0.12%	—

地域保健その他：咽頭がん(1)・食道がん(1)を含む

精検受診率	精 密 検 査 結 果						がん 発見率	陽性反応 適中度
	原発性 肺がん	転移性 肺がん	肺がん 疑い	その他	異常なし	不 明		
76.7%	13	0	1	7	2	0	0.13%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	1	0	0%	—
—	0	0	0	1	1	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	3	0	1	1	0	0	0.22%	—
—	1	0	0	0	0	0	0.07%	—
—	5	0	0	1	0	0	0.49%	—
—	3	0	0	2	0	0	0.53%	—
—	1	0	0	2	0	0	0.32%	—
76.7%	13	0	1	7	2	0	0.14%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—
—	0	0	0	0	0	0	—	—
—	0	0	0	0	0	0	0%	—

男75～79歳その他：咽頭がん(1)、男80歳以上その他：食道がん(1)を含む
 (備考) がん発見率(%)=原発性肺がん数/受診者数×100 陽性反応的中度(%)=原発性肺がん数/精検受診者数×100

3. 子宮がん検診（頸部細胞診検査）追跡調査結果（平成21年度）

■実施状況

頸部細胞診検査の要精密検査率は1.3%、精密検査受診率は86.8%であった。精密検査受診者243人のうち子宮頸がんと診断されたのは13人、うち10人は早期がんであった。要精密検査率、がん発見率ともに、20～30代が高い。

表1 精密検査受診状況（全体）

区分	検査人数	細胞診クラス分類									判定不能	要精検者数	要精検率
		I	II	II b	III a	III	III b	IV	V				
計	21,862	2,090	19,390	102	219	13	31	12	5	0	280	1.3%	
地域保健	6,901	766	6,017	32	66	6	10	4	0	0	86	1.2%	
産業保健	7,857	699	6,967	44	120	5	14	6	2	0	147	1.9%	
一日人間ドック	7,104	625	6,406	26	33	2	7	2	3	0	47	0.7%	

表2 年齢階級別精密検査受診状況

年齢区分	検査人数	細胞診クラス分類									判定不能	要精検者数	要精検率
		I	II	II b	III a	III	III b	IV	V				
計	21,862	2,090	19,390	102	219	13	31	12	5	0	280	1.3%	
～24歳	522	99	397	6	20	0	0	0	0	0	20	3.8%	
25～29	1,046	158	827	14	37	1	5	4	0	0	47	4.5%	
30～34	1,643	204	1,376	20	34	0	7	2	0	0	43	2.6%	
35～39	2,494	318	2,119	10	35	2	4	3	3	0	47	1.9%	
40～44	2,713	296	2,354	19	35	2	7	0	0	0	44	1.6%	
45～49	2,649	314	2,288	11	24	3	6	3	0	0	36	1.4%	
50～54	2,632	238	2,364	10	17	2	1	0	0	0	20	0.8%	
55～59	2,830	157	2,658	4	10	0	0	0	1	0	11	0.4%	
60～64	2,145	119	2,019	3	1	1	1	0	1	0	4	0.2%	
65～69	1,716	99	1,612	2	3	0	0	0	0	0	3	0.2%	
70～74	1,017	57	955	2	2	1	0	0	0	0	3	0.3%	
75～79	355	22	331	1	1	0	0	0	0	0	1	0.3%	
80歳～	100	9	90	0	0	1	0	0	0	0	1	1.0%	

平成23年8月31日現在

精検 受者数	精検 受診率	精 密 検 査 結 果										がん 発見率	陽性 反応 適中度
		子 宮 頸 が ん			子宮頸 がんの 疑い	子宮 体がん	異形成	その他	異常 なし	不 明			
		小計	早期がん	進行がん									
243	86.8%	13	10	3	0	0	115	69	45	1	0.06%	5.35%	
77	89.5%	2	2	0	0	0	31	24	20	0	0.03%	2.6%	
129	87.8%	8	6	2	0	0	68	34	18	1	0.10%	6.20%	
37	78.7%	3	2	1	0	0	16	11	7	0	0.04%	8.11%	

精検 受者数	精検 受診率	精 密 検 査 結 果										がん 発見率	陽性 反応 適中度
		子 宮 頸 が ん			子宮頸 がんの 疑い	子宮 体がん	異形成	その他	異常 なし	不 明			
		小計	早期がん	進行がん									
243	86.8%	13	10	3	0	0	115	69	45	1	0.06%	5.35%	
17	-	0	0	0	0	0	5	5	7	0	0%	-	
42	89.4%	1	1	0	0	0	24	12	5	0	0.10%	2.38%	
42	97.7%	2	2	0	0	0	19	11	10	0	0.12%	4.76%	
44	93.6%	7	5	2	0	0	25	7	5	0	0.28%	15.91%	
35	79.5%	0	0	0	0	0	16	13	5	1	0%	0%	
26	72.2%	1	1	0	0	0	11	12	2	0	0.04%	-	
17	-	1	1	0	0	0	7	2	7	0	0.04%	-	
10	-	0	0	0	0	0	6	3	1	0	0%	-	
3	-	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0.05%	-	
3	-	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0%	-	
3	-	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0%	-	
0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	-	
1	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0%	-	

(備考) がん発見率(%)=子宮頸がん数/受診者数×100 陽性反応の適中度(%)=子宮頸がん数/精検受診者数×100

4. 乳がん検診追跡調査結果(平成21年度)

■実施状況

乳がん検診の要精密検査率は5.1%、精密検査受診率は89.4%であった。精密検査受診者1,029人のうち乳がんと診断されたのは61人であった。年代別でがん発見率が最も高いのは40代後半であった。

表1 精密検査受診状況(全体)

表1-1 視触診・乳房X線・超音波検査の単独及び併用方式

区分	検査人数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	乳がん	
						小計	早期がん
計	22,622	1,151	5.1%	1,029	89.4%	61	42
地域保健	6,813	424	6.2%	401	94.6%	26	16
産業保健	8,154	402	4.9%	337	83.8%	18	14
一日人間ドック	7,655	325	4.2%	291	89.5%	17	12

表1-2 視触診・乳房X線併用方式

区分	検査人数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	乳がん	
						小計	早期がん
計	13,348	667	5.0%	586	87.9%	39	25
地域保健	3,142	157	5.0%	144	91.7%	12	6
産業保健	4,296	260	6.1%	214	82.3%	12	9
一日人間ドック	5,910	250	4.2%	228	91.2%	15	10

表2 年齢階級別精密検査受診状況

表2-1 全体(視触診・乳房X線・超音波検査の単独検診及び併用検診の合計)

年齢区分	検査人数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	乳がん	
						小計	早期がん
計	22,622	1,151	5.1%	1,029	89.4%	61	42
～29歳	414	11	2.7%	10	—	0	0
30～34	636	19	3.0%	15	—	0	0
35～39	1,769	75	4.2%	68	90.7%	0	0
40～44	3,240	213	6.6%	186	87.3%	9	4
45～49	3,308	244	7.4%	208	85.2%	13	10
50～54	3,473	206	5.9%	182	88.3%	13	8
55～59	3,319	137	4.1%	126	92.0%	9	8
60～64	2,843	99	3.5%	95	96.0%	5	3
65～69	1,903	78	4.1%	73	93.6%	7	5
70歳～	1,717	69	4.0%	66	95.7%	5	4

表2-2 視触診・乳房X線併用方式

年齢区分	検査人数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	乳がん	
						小計	早期がん
計	13,348	667	5.0%	586	87.9%	39	25
～29歳	10	0	—	0	—	0	0
30～34	37	0	0%	0	—	0	0
35～39	300	26	8.7%	23	—	0	0
40～44	1,831	117	6.4%	98	83.8%	6	3
45～49	1,925	149	7.7%	123	82.6%	8	5
50～54	2,461	148	6.0%	129	87.2%	9	6
55～59	2,325	88	3.8%	81	92.0%	7	6
60～64	1,952	57	2.9%	54	94.7%	4	2
65～69	1,269	45	3.5%	42	93.3%	2	1
70歳～	1,238	37	3.0%	36	97.3%	3	2

平成23年8月31日現在

精 密 検 査 結 果	乳がん 疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	異常なし	不 明	がん 発見率	陽性反応 適中度
	0	226	71	303	362	6	0.27%	5.93%
61.5%	0	93	19	99	163	1	0.38%	6.48%
77.8%	0	71	26	121	99	2	0.22%	5.34%
70.6%	0	62	26	83	100	3	0.22%	5.84%

精 密 検 査 結 果	乳がん 疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	異常なし	不 明	がん 発見率	陽性反応 適中度
	0	129	35	177	202	4	0.29%	6.66%
50.0%	0	29	5	43	55	0	0.38%	8.33%
75.0%	0	54	15	68	63	2	0.28%	5.61%
66.7%	0	46	15	66	84	2	0.25%	6.58%

平成23年8月31日現在

精 密 検 査 結 果	乳がん 疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	異常なし	不 明	がん 発見率	陽性反応 適中度
	0	226	71	303	362	6	0.27%	5.93%
	0	2	3	3	2	0	0%	-
	0	1	3	8	3	0	0%	-
	0	14	10	21	23	0	0%	0%
44.4%	0	57	15	49	55	1	0.28%	4.84%
76.9%	0	40	23	70	60	2	0.39%	6.25%
61.5%	0	46	7	52	64	0	0.37%	7.14%
88.9%	0	22	7	37	50	1	0.27%	7.14%
60.0%	0	18	2	29	40	1	0.18%	5.26%
71.4%	0	15	1	13	36	1	0.37%	9.59%
80.0%	0	11	0	21	29	0	0.29%	7.58%

精 密 検 査 結 果	乳がん 疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	異常なし	不 明	がん 発見率	陽性反応 適中度
	0	129	35	177	202	4	0.29%	6.66%
	0	0	0	0	0	0	-	-
	0	0	0	0	0	0	0%	-
	0	5	1	8	9	0	0%	-
50.0%	0	32	5	27	27	1	0.33%	6.12%
62.5%	0	22	16	36	39	2	0.42%	6.50%
66.7%	0	36	6	36	42	0	0.37%	6.98%
85.7%	0	11	4	28	31	0	0.30%	8.64%
50.0%	0	11	2	20	17	0	0.20%	7.41%
50.0%	0	10	1	7	21	1	0.16%	4.76%
66.7%	0	2	0	15	16	0	0.24%	8.33%

(備考) がん発見率(%)=乳がん数/受診者数×100 陽性反応の適中度(%)=乳がん数/精検受診者数×100

5. 大腸がん検診追跡検査調査結果（平成21年度）

■実施状況

大腸がん検診（便潜血反応検査）の要精密検査率は5.3%、精密検査受診率はがん検診の中でも最も低く59.8%であった。部門別では地域保健は84.2%、産業保健51.5%、一日人間ドック65.6%であった。精密検査受診者2,696人のうち大腸がんと診断されたのは95人、うち早期がんは62人であった。

表1 精密検査受診状況（全体）

区分	検査人数	要精検査者数	要精検査率	精検査受診者数	精検査受診率	大腸がん			
						小計	早期がん	進行がん	期別不明
計	87,130	4,505	5.2%	2,696	59.8%	95	62	21	12
地域保健	11,311	732	6.5%	616	84.2%	28	20	6	2
産業保健	57,549	2,801	4.9%	1,442	51.5%	37	25	7	5
一日人間ドック	18,270	972	5.3%	638	65.6%	30	17	8	5

表2 性別・年齢階級別精密検査受診状況

性別	年齢区分	検査人数	要精検査者数	要精検査率	精検査受診者数	精検査受診率	大腸がん			
							小計	早期がん	進行がん	期別不明
計		87,130	4,505	5.2%	2,696	59.8%	95	62	21	12
男	～39歳	8,524	314	3.7%	150	47.8%	3	2	1	0
	40～44	7,726	288	3.7%	135	46.9%	3	2	1	0
	45～49	8,461	400	4.7%	193	48.3%	3	3	0	0
	50～54	8,681	501	5.8%	253	50.5%	6	5	1	0
	55～59	8,722	616	7.1%	311	50.5%	9	7	0	2
	60～64	5,370	389	7.2%	244	62.7%	10	5	1	4
	65～69	2,668	204	7.6%	158	77.5%	7	5	2	0
	70～74	1,882	148	7.9%	115	77.7%	6	2	2	2
	75～79	1,088	92	8.5%	82	89.1%	5	4	1	0
	80歳～	464	55	11.9%	43	78.2%	3	1	1	1
小計		53,586	3,007	5.6%	1,684	56.0%	55	36	10	9
女	～39歳	4,724	201	4.3%	107	53.2%	0	0	0	0
	40～44	4,337	200	4.6%	114	57.0%	1	1	0	0
	45～49	4,898	202	4.1%	114	56.4%	4	3	1	0
	50～54	5,435	221	4.1%	154	69.7%	7	3	3	1
	55～59	5,220	203	3.9%	134	66.0%	4	2	2	0
	60～64	3,278	140	4.3%	103	73.6%	6	5	1	0
	65～69	2,338	114	4.9%	102	89.5%	7	4	2	1
	70～74	1,867	109	5.8%	93	85.3%	6	6	0	0
	75～79	1,022	72	7.0%	60	83.3%	2	2	0	0
	80歳～	425	36	8.5%	31	86.1%	3	0	2	1
小計		33,544	1,498	4.5%	1,012	67.6%	40	26	11	3

平成23年8月31日現在

精 検 結 果 内 訳									がん 発見率	陽性反応 適中度
大腸がん 疑い	ポリープ	クローン 病	潰瘍性 大腸炎	大腸憩室	痔疾患	その他 の疾患	異常なし	不 明		
1	1,151	2	22	93	336	62	903	31	0.11%	3.52%
0	285	0	1	20	73	19	190	0	0.25%	4.55%
0	571	2	14	57	182	34	522	23	0.06%	2.57%
1	295	0	7	16	81	9	191	8	0.16%	4.70%

精 検 結 果 内 訳									がん 発見率	陽性反応 適中度
大腸がん 疑い	ポリープ	クローン 病	潰瘍性 大腸炎	大腸憩室	痔疾患	その他 の疾患	異常なし	不 明		
1	1,151	2	22	93	336	62	903	31	0.11%	3.52%
0	38	1	4	2	31	3	67	1	0.04%	2.00%
0	47	1	3	5	24	2	46	4	0.04%	2.22%
0	88	0	2	6	18	4	71	1	0.04%	1.55%
0	141	0	5	8	24	7	60	2	0.07%	2.37%
0	173	0	0	16	30	9	72	2	0.10%	2.89%
0	143	0	1	9	20	0	61	0	0.19%	4.10%
0	97	0	1	1	12	2	37	1	0.26%	4.43%
0	66	0	0	3	17	1	22	0	0.32%	5.22%
1	47	0	0	4	9	1	15	0	0.46%	6.10%
0	18	0	0	1	3	1	17	0	0.65%	6.98%
1	858	2	16	55	188	30	468	11	0.10%	3.27%
0	15	0	4	4	18	2	60	4	0%	0%
0	18	0	1	7	17	4	63	3	0.02%	0.88%
0	34	0	0	2	19	2	49	4	0.08%	3.51%
0	51	0	1	4	14	2	72	3	0.13%	4.55%
0	34	0	0	5	24	9	56	2	0.08%	2.99%
0	34	0	0	3	15	4	39	2	0.18%	5.83%
0	36	0	0	6	14	3	35	1	0.30%	6.86%
0	27	0	0	2	13	2	43	0	0.32%	6.45%
0	29	0	0	4	10	0	14	1	0.20%	3.33%
0	15	0	0	1	4	4	4	0	0.71%	9.68%
0	293	0	6	38	148	32	435	20	0.12%	3.95%

(備考) がん発見率(%)=大腸がん数/受診者数×100 陽性反応の適中度(%)=大腸がん数/精検受診者数×100

6. 前立腺特異抗原検診追跡調査結果（平成21年度）

■実施状況

前立腺特異抗原（P S A）検査の要精密検査率は4.3%、精密検査受診率は72.3%であった。精密検査受診者1,333人のうち前立腺がんは233人で、精密検査受診者の17.48%にあたる。このうち早期がんは70.0%であった。がん発見率は例年同様全体で0.5%を超えた。

表1 精密検査受診状況（全体）

区 分	検査人数	要精検 者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	前 立 腺 が ん		
						小計	早期がん	進行がん
計	42,496	1,821	4.3%	1,333	73.2%	233	163	25
地域保健	25,222	1,290	5.1%	985	76.4%	181	124	21
産業保健	9,767	215	2.2%	107	49.8%	11	7	2
一日人間ドック	7,507	316	4.2%	241	76.3%	41	32	2

表2 年齢階級別精密検査受診状況

年齢区分	検査人数	要精検 者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	前 立 腺 が ん		
						小計	早期がん	進行がん
計	42,496	1,821	4.3%	1,333	73.2%	233	163	25
～39歳	188	1	0.5%	0	—	0	0	0
40～44	173	2	1.2%	0	—	0	0	0
45～49	804	6	0.7%	2	—	0	0	0
50～54	7,420	114	1.5%	63	55.3%	8	5	1
55～59	8,333	173	2.1%	107	61.8%	16	12	1
60～64	6,671	228	3.4%	149	65.4%	26	19	1
65～69	7,201	368	5.1%	274	74.5%	52	36	8
70～74	6,565	433	6.6%	346	79.9%	64	46	10
75～79	3,448	282	8.2%	219	77.7%	39	32	1
80歳～	1,693	214	12.6%	173	80.8%	28	13	3

平成23年8月31日現在

精 密 検 査 結 果	精 密 検 査 結 果						がん 発見率	陽性反応 適中度	
	期別不明	前立腺 がん疑い	前立腺 肥大症	前立腺炎	その他	異常なし			不 明
	45	48	644	31	37	274	66	0.55%	17.48%
	36	36	479	14	25	199	51	0.72%	18.38%
	2	5	47	6	6	27	5	0.11%	10.28%
	7	7	118	11	6	48	10	0.55%	17.01%

精 密 検 査 結 果	精 密 検 査 結 果						がん 発見率	陽性反応 適中度	
	期別不明	前立腺 がん疑い	前立腺 肥大症	前立腺炎	その他	異常なし			不 明
	45	48	644	31	37	274	66	0.55%	17.48%
	0	0	0	0	0	0	0	0%	-
	0	0	0	0	0	0	0	0%	-
	0	0	0	1	0	1	0	0%	-
	2	5	17	3	2	25	3	0.11%	12.70%
	3	3	42	5	7	30	4	0.19%	14.95%
	6	3	68	4	3	39	6	0.39%	17.45%
	8	8	142	12	3	51	6	0.72%	18.98%
	8	10	171	4	9	72	16	0.97%	18.50%
	6	10	112	0	6	34	18	1.13%	17.81%
	12	9	92	2	7	22	13	1.65%	16.18%

(備考) がん発見率(%)=前立腺がん数/受診者数×100 陽性反応の適中度(%)=前立腺がん数/精密検査受診者数×100

7. 至急連絡による追跡調査結果（平成21年度）

■実施状況

当協会では、血液検査、心電図検査、眼底検査で緊急を要する所見が認められたものについて「至急連絡」としている。これは結果報告を待たず、該当する項目の結果のみを報告し、直ちに医療機関を受診するよう促している。ここでは平成21年度検診実施分の至急連絡追跡調査結果を、産業保健と地域保健に分けて掲載した。

地域保健では貧血検査によるものが最も多く、対象者は全体の0.08%、次いで肝機能検査と血糖検査がそれぞれ0.07%、0.06%であった（表1-1）。

産業保健では肝機能検査によるものが最も多く0.12%、次いで貧血検査と眼底検査がそれぞれ0.07%、0.04%であった（表1-2）。

表1 部門別・項目別至急連絡追跡調査結果

表1-1 地域保健部門

検査項目	基準値	受診者数	精検 対象者数	回答数	
肝機能	AST：200U/l以上 ALT：200U/l以上	102,580	76 (0.07%)	62 (81.6%)	C型肝炎(1) 急性肝炎(1) アルコール性肝障害(17) 薬剤性肝障害(4) 脂肪肝(8) がん性腹膜炎(1) 高血圧(1) その他の診断名(2)
腎機能	Cre：4.0mg/dl以上	53,369	3 (0.01%)	2 (66.7%)	慢性腎不全(1)
尿酸	UA：11.0mg/dl以上	44,109	20 (0.05%)	16 (80.0%)	高尿酸血症(13) 肝機能障害(1)
血糖	空腹時：300mg/dl以上 随時：400mg/dl以上	102,649	59 (0.06%)	46 (78.0%)	糖尿病(46) アルコール性肝炎(1) 肺腫瘍(1)
貧血	RBC：200×10 ⁴ /μl以下 Hb：7.0g/dl以下 Ht：25%以下	57,314	47 (0.08%)	36 (76.6%)	鉄欠乏性貧血(28) 直腸がん(1) 真性赤血球増加症(1)
白血球	医師の判断	-	15	12 (80.0%)	慢性骨髄性白血病(1) 真性赤血球増加症(2) 本態性血小板増加症(1)
血小板	医師の判断	-	12	11 (91.7%)	本態性血小板増加症(1) 骨髄異形成症候群(1) 白血球増加症(1)
心電図	医師の判断	54,933	23 (0.04%)	20 (87.0%)	完全房室ブロック(5) 心房細動(1) 虚血性心疾患(1) 心筋虚血疑い(1)
眼底	医師の判断	42,331	15 (0.04%)	14 (93.3%)	糖尿病性網膜症(6)

平成23年3月31日現在

診断名内訳（重複回答あり）

C型慢性肝炎(2)	H Bキャリア(1)	慢性肝炎(1)
急性肝炎疑い(1)	自己免疫性肝炎(1)	自己免疫性肝炎疑い(1)
アルコール性慢性肝炎(1)	アルコール性肝炎(1)	アルコール性肝炎疑い(1)
薬剤性肝炎(1)	肝機能障害(8)	肝のう胞(1)
肝内結石(1)	膵臓がん(2)	閉塞性黄疸(2)
胆のうポリープ(1)	脂質異常症(1)	慢性腎不全(1)
腎のう胞(1)	うっ血性心不全(1)	腹部大動脈瘤(1)
特記所見なし(2)		
慢性腎炎(1)	IgA腎症(1)	
痛風(2)	痛風関節炎(1)	慢性腎臓病(1)
アルコール性肝障害(1)	診断名記載なし(1)	
糖尿病性腎症(2)	脂質異常症(5)	慢性肝炎(1)
脂肪肝(1)	高血圧(3)	肥満(1)
間質性肺炎(1)	胃潰瘍(1)	
貧血(3)	低色素性貧血(1)	子宮筋腫(1)
胃潰瘍(1)	胃ポリープ(1)	十二指腸潰瘍(1)
慢性リンパ急性白血病(2)	慢性骨髄増殖症候群(1)	骨髄線維症(1)
白血球増加症(1)	リンパ球増加(1)	再生不良性貧血疑い(1)
多血症(1)		
血小板増加症(1)	血小板減少症(2)	特発性血小板減少性紫斑病(2)
慢性リンパ性白血病(1)	真性赤血球増加症(1)	多血症(1)
再生不良性貧血疑い(1)		
心房粗動(3)	発作性心房粗動(1)	洞不全症候群(1)
一過性心房細動(1)	狭心症(1)	狭心症疑い(1)
無症候性心筋虚血(1)	洞性除脈(1)	陳旧性心筋梗塞(3)
特記所見なし(1)		
網膜静脈分枝閉塞症(5)	高血圧性網膜症(2)	網動脈硬化症(1)

表1-2 産業保健部門

検査項目	基準値	受診者数	精検対象者数	回答数	
肝機能	AST：200U/l以上 ALT：200U/l以上	182,510	211 (0.12%)	153 (72.5%)	B型肝炎(1) アルコール性肝炎(4) 薬剤性肝炎(2) 急性肝炎疑い(1) 肝硬変疑い(1) 脂肪肝(7) 脂肪肝疑い(2) 胆のう腺筋症(1) 脂質異常症(2) 肥満(2) 記載なし(2)
腎機能	Cre：4.0mg/dl以上	93,831	6 (0.01%)	4 (66.7%)	慢性腎不全(3)
尿酸	UA：11.0mg/dl以上	97,403	32 (0.03%)	24 (75.0%)	高尿酸血症(20) 脂肪肝(1) 心筋症(1)
血糖	空腹時：300mg/dl以上 随時：400mg/dl以上	130,725	29 (0.02%)	11 (37.9%)	糖尿病(1) 脂質異常症(4)
貧血	RBC：200×10 ⁴ /dl以下 Hb：7.0g/dl以下 Ht：25%以下	182,165	136 (0.07%)	103 (75.7%)	鉄欠乏性貧血(7) 低色素性貧血(1) 子宮内膜症(1) 膀胱腫瘍(1) バセドウ氏病(1)
白血球	医師の判断	-	19	10 (52.6%)	慢性骨髄性白血病(1) 好酸球増加症(1)
血小板	医師の判断	-	19	11 (57.9%)	本態性血小板症(2) 骨髄異型性症候群(1)
心電図	医師の判断	173,328	34 (0.02%)	27 (79.4%)	心筋梗塞(1) 心房細動(1) 完全房室ブロック(3) 心室性期外収縮(4) 洞性徐脈(2) 特記所見なし(3)
眼底	医師の判断	53,263	21 (0.04%)	16 (76.2%)	糖尿病性網膜症(8) 視神経乳頭陥凹(1)
胸部線	医師の判断	-	1	1 (100.0%)	肺癌(1)
胃部線	医師の判断	-	1	0 (0.0%)	
腹部超音波	医師の判断	-	3	2 (66.7%)	肝細胞がん(1)

診断名内訳（重複回答あり）

B型慢性肝炎(4)	C型肝炎(2)	C型慢性肝炎(1)
アルコール性肝炎疑い(1)	アルコール性慢性肝炎(3)	アルコール性肝障害(18)
薬剤性肝障害(3)	薬剤性肝障害疑い(2)	急性肝炎(1)
慢性肝炎(7)	肝硬変(1)	原発性胆汁性肝硬変(2)
肝機能障害(24)	肝がん(1)	自己免疫性肝炎(4)
非アルコール性脂肪性肝炎(4)	非アルコール性脂肪性肝炎疑い(2)	アルコール性脂肪肝(1)
胆のう結石(3)	胆のうポリープ(2)	胆管炎(1)
慢性膵炎(1)	膵炎(1)	腎結石(2)
糖尿病(9)	高血圧(2)	高尿酸血症(1)
大腸ポリープ(1)	全身性エリテマトーデス(1)	その他の診断名(2)
特記所見なし(9)		
腎不全(1)		
痛風(3)	慢性腎不全(1)	脂質異常症(5)
高血圧(1)	肝機能障害(1)	うっ血性心不全(1)
特記所見なし(1)		
糖尿病性腎症(1)	高血圧(2)	本態性高血圧(1)
脂肪肝(1)	大腸ポリープ(1)	陳旧性脳梗塞疑い(1)
貧血(8)	小球性貧血(1)	小球性低色素性貧血(1)
子宮筋腫(2)	子宮筋腫疑い(1)	子宮腺筋腫症(1)
過多月経(2)	卵巣がん(1)	直腸がん(1)
胃潰瘍(1)	粘膜下腫瘍(1)	大腸炎(1)
その他の診断名(1)	記載なし(1)	特記所見なし(1)
慢性リンパ性白血病(1)	白血球増加症(1)	真性赤血球増加症(1)
糖尿病(1)	特記所見なし(1)	
本態性血小板減少症(2)	血小板減少症(1)	特発性血小板減少性紫斑病(2)
慢性骨髄性白血病(1)	ヘアリー細胞白血病(1)	真性赤血球増加症(1)
心筋梗塞の疑い(1)	陳旧性心筋梗塞疑い(4)	狭心症(1)
心房粗動(1)	発作性上室頻拍(1)	非発作性心室頻拍(1)
洞房ブロック(1)	洞不全症候群(1)	洞停止(1)
上室性期外収縮(1)	虚血性心疾患(1)	無症候性心筋虚血(1)
高血圧(1)	糖尿病(1)	脂質異常症(1)
網膜静脈分枝閉塞症(6)	網膜動脈硬化症(2)	中心性漿液性脈絡網膜症(1)
腎がん(1)		

8. 肝炎ウイルス検診実施状況

当協会は国の肝炎対策事業が開始される以前から、健康診断に肝炎検査を導入し、HCV検診は1993年から、HBs抗原・抗体検査は1977年から実施している。2002年4月からは国の5カ年計画によるC型肝炎等緊急総合対策が実施され、その後も健康増進法に基づき肝炎検診を推進している。

また、岩手県は肝炎総合対策「肝炎総合対策肝炎治療7カ年計画」に基づき、2007年に「岩手県肝炎対策協議会」を設置し、肝疾患診療ネットワークの整備やインターフェロン治療費公費助成制度などキャリアへの診療体制の充実や岩手県肝炎対策計画の策定など肝炎対策に取り組んでいる。保健所における無料検査に加え、現在は肝炎診療ネットワークに所属する専門医療機関15機関や肝炎かかりつけ医61施設においても無料で肝炎ウイルス検査が受けられるように手続きを簡素化し、受診機会の拡大を図っている。

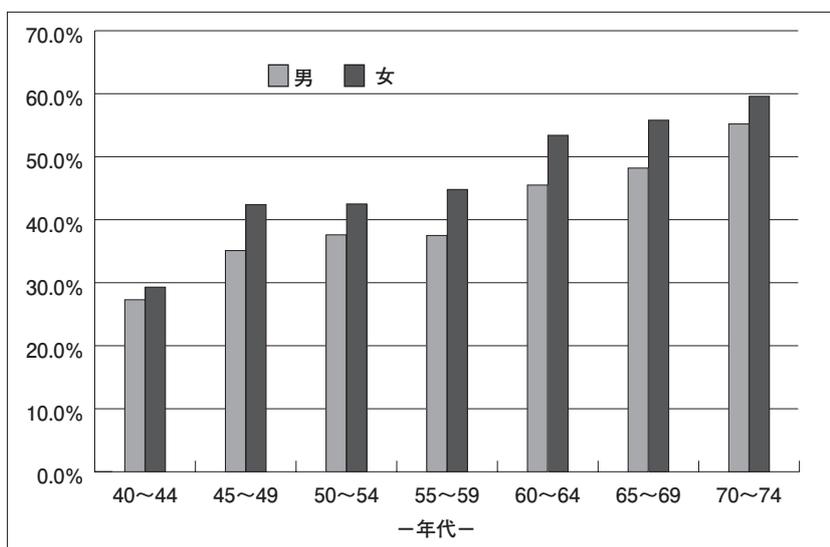
一方、国は平成23年度地域の企業を対象に職場などに出向いての肝炎検査（出前検診）への補助事業を進めており、岩手県においてもこの事業が円滑に進められれば受診率の低い職域を中心とした世代の受診率向上が期待される。

■HCV検診受診率

当協会では1996年からHCV抗体検査に加えHCV-RNA検査を導入しHCVキャリアを特定する方法でHCV検査を実施してきた。HCV-RNA検査導入後である1996年4月から2011年3月までのHCV検査初回受診者数は370,248人で、2010年度は新たに17,141人がHCV検診を受診した。

肝炎検診のターゲットである40～74歳の検診受診率は44.2%（274,968人／622,133人）で、男性40.8%、女性47.4%であった。65～74歳の受診率は高く50%を越える受診率であった。しかし、40～44歳では、男性27.3%、女性29.3%と低率であった（図1）。いずれの年代も男性の受診率が女性に比べ低く、また若年者の受診率が低い点については職域検診への導入が遅れていることが原因と推測される。

図1 岩手県の人口に対するHCV検診受診率



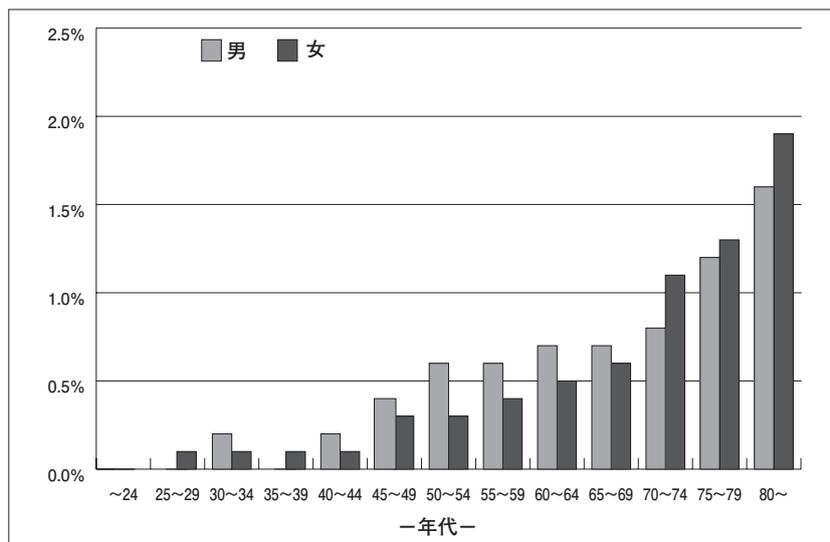
(岩手県の人口：2010年10月1日現在)

■HCVキャリア数

1996年4月～2011年3月までに、2,671人(0.72%)のHCVキャリアを発見した。図2に示すとおり、HCVキャリア率は高齢者ほど高率であった。80歳以上の群では1.8%であったものが40～44歳群で0.18%にまで低下していた。更に、39歳以下の群のHCVキャリア率は0.04%と極めて低率になった。

性・年代別HCVキャリア率から、岩手県の40～74歳のHCVキャリア数は3,382人と推計された。

図2 性・年代別HCVキャリア率

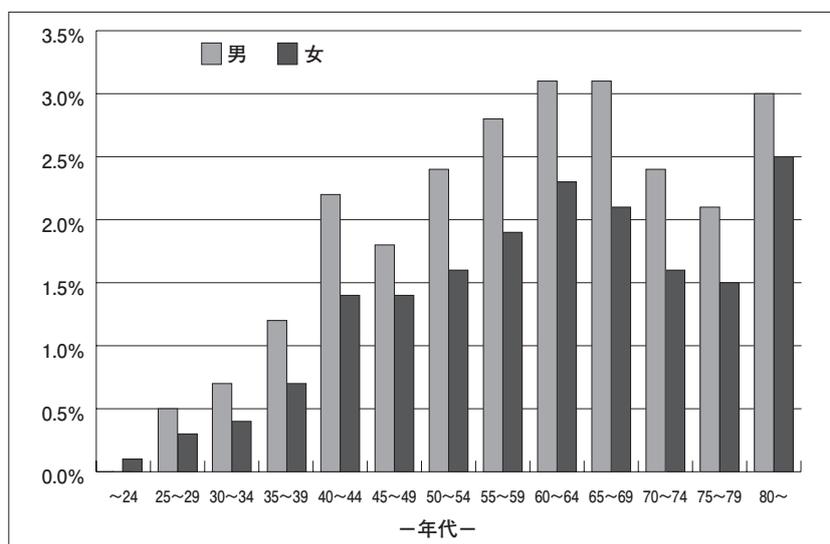


■HBs抗原陽性者数

1986年～2009年3月までにHBs抗原検査を受診した初回受診者数は490,592人で10,616人（2.16%）のHBs抗原陽性者が発見された。男性のHBs抗原陽性率は2.55%、女性は1.86%であり、すべての年代において男性のHBs抗原陽性率が女性に比べ高率であった。HBs抗原陽性率のピークは団塊の世代に認められ男性は65歳～69歳で3.13%、女性は60歳～64歳で2.30%であった（図3）。

性・年代別HBs抗原陽性率から岩手県の40～74歳のHBs抗原陽性者は13,523人と推計された。

図3 性・年代別HBs抗原陽性率



■HCVキャリアの追跡調査

当協会では検診で発見されたHCVキャリアの医療機関受診調査や医療機関を通じてその後のキャリアの状況等の追跡調査を行っている。1993～2010年9月30日までに検診で発見されたキャリアに対して、はがきによる医療機関受診調査を実施し、医療機関受診が確認された方（2010年10月30日現在）について1996年から年1回アンケートによる追跡調査を行っている。

1996年～2010年までに医療機関から頂いた回答を集計したところ、検診によって初めてHCVキャリアであることが明らかになった方はキャリア全体の63.8%を占めており、検診により潜在するキャリアが発見されていることが確認された。

検診で発見されたHCVキャリアの医療機関受診率は63.1%であった。医療機関を受診したHCVキャリアのうち、「定期的通院」をしている方は45.9%であった。「不定期通院」や「他医院に紹介」された方9.4%を加え、継続的に医療機関の管理を受けているHCVキャリアは55.3%と考えられた。一方、一度医療機関を受診したものの、その後「来院せず」との回答が37.5%であった。これらから医療機関受診率が約6割であり、その内医療機関の管理下にある方が約6割であることから実際に定期受診・不定期受診など医療機関の管理下にあるのは発見したキャリアの4割弱にとどまっていると推測された。また、継続的に医療機関の管理を受けている方の割合は調査を重ねるごとに減少している。

■診断名と治療

初診時の臨床診断名の回答のあった1,319人中、慢性肝炎が最も多く68.4%で、次いで無症候性キャリア26.8%、肝硬変4.1%、肝細胞癌が0.7%であった。肝細胞癌の9人中4人は検診によりキャリアと判定され、初めて医療機関を受診された方であった。初診時の治療は経過観察58.4%、肝庇護療法22.8%、強力ミノファージェンC 7.9%、インターフェロン治療7.8%であった。

経過観察時（最近）の臨床診断名の回答のあった1,185人中、慢性肝炎が55.2%、無症候性キャリアが22.3%、肝硬変が6.8%、肝細胞癌が3.8%と初診時に比べ無症候性キャリア、慢性肝炎が減少し、肝細胞癌の割合の増加と肝関連死との報告も増加している。一方、インターフェロン著効による陰転者は6.2%と昨年調査に比べ増加していた。経過観察時（最近）の治療は、経過観察40.6%、肝庇護療法27.7%、インターフェロン治療18.2%、強力ミノファージェンC 10.2%であった。一方、肝細胞癌への進行例の増加に伴い、がん治療との回答が増えている。

■インターフェロン治療についての説明状況

IFN治療の説明実施状況について503人の回答を頂いた。全体の説明実施率は62.4%であった。岩手県肝疾患診療ネットワークの連携拠点病院では89.6%、専門医療機関77.0%、肝炎かかりつけ医57.3%となっており、ネットワーク以外の医療機関では39.6%であった。

■インターフェロン実施率

観察期間中一度でもインターフェロン治療を受けたことがあると回答した人は全体の18.3%であった。インターフェロンの実施率を見ると男性は50歳代に女性は60歳代にピークが見られた。インターフェロンを投与しなかった理由として、最も多い理由は「高齢のため」で32.1%、次いで「肝機能正常」が31.3%と医療機関側判断による理由であった。キャリア自身の理由である「本人希望せず」が6.7%、「家庭・仕事の都合」が5.2%で、男性では主に65歳未満の働き盛りの年齢層に見られた。「経済的理由」が3.7%と予想外に少なかった。

■臨床診断名の変化

初診時と経過観察（最近）時の診断名の回答があり、13ヶ月以上の臨床的経過の追跡ができたHCVキャリア1,019人について臨床診断名の変化をみた。平均経過観察年数は7年6ヶ月であった（図4）。このうち、

